

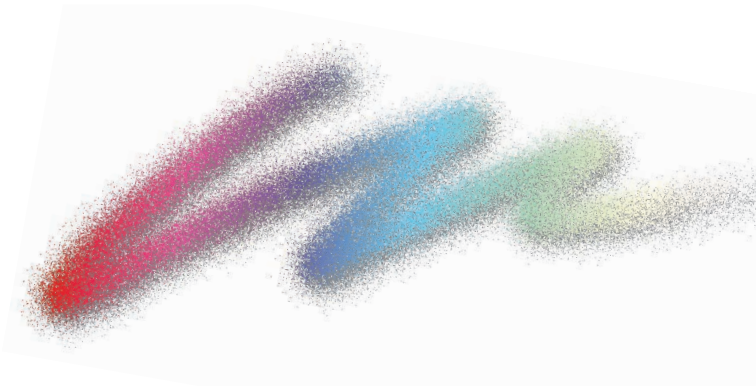
ひろしま

老健

広島県老人保健施設協議会

第15号

March 2015



広島市／縮景園



広島老健協



廿日市／厳島神社鳥居





ひろしま 老健

広島県老人保健施設協議会

CONTENTS

目次

1	巻頭言 広島県老人保健施設協議会 副会長 河野英樹（ピレネ）	1
2	特集（1）県老健の老健機能実態調査報告概要 平成26年度介護老人保健施設機能実態調査報告概要 広島県老人保健施設協議会 事務局 山本 明芳（みつぎの苑）	2
	特集（2）老健での「看取り」の実践報告	
	①介護老人保健施設 愛生苑	10
	②介護療養型老人保健施設 いわさき	11
	③介護老人保健施設 サンスクエア沼南	12
3	広島県福祉関連施設紹介シリーズ 広島県西部認知症患者医療センターの紹介 広島県西部認知症患者医療センター センター長 井門 ゆかり	14
4	広島県老人保健施設協議会の活動 ①介護の日フェスタ in 広島（河野副会長、事務局） ②広島市大規模土砂災害リハビリ支援について リハビリ部次長 近藤 健二（みつぎの苑）	16 18
5	ちょっと聞いてよ！施設自慢（各施設） 介護老人保健施設 ゆうゆうの園 介護老人保健施設 ひまわり 介護老人保健施設 しんあい 介護老人保健施設 ほほえみ呉中央	22 24 26 28
6	介護キャリア段位制度について（河野副会長）	30
7	広島県老人保健施設協議会会員名簿一覧	31
8	広島県介護老人保健施設マップ	36



巻 頭 言

広島県老人保健施設協議会 副会長 河野 英樹（ピレネ）



広島県老人保健施設協議会の皆様、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年夏に実施致しました「介護老人保健施設機能実態調査」では、ご多忙の中、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。お陰さまで9割を超える高率で調査票を回収できました。調査時にもご説明の通り、本調査は県内老健施設の持つ機能の実態調査に加え、私どもが地域包括ケアの一翼を担うに相応しい機関であり、その統括的団体であることを県・市・町に対し、さらに中央に向けても発信することを意図したものでした。この高い回収率はそのことを県当局などに示すことになるものと考えます。同時に、各会員施設様が今後の老健機能向上に向けての旺盛な意欲をお持ちであることも、うかがわせる結果でした。

この実態調査報告書につきましては、今年2月に県に提出し、同時に各会員施設様に送付させていただきました。また、本号の特集1で概要を掲載しておりますのでご一読ください。これによりますと、施設内リハビリテーション機能の充実など老健の機能が十分発揮されている側面と、在宅復帰後の支援や認知症ケアのあり方、市町の介護予防事業へのリハビリ職種の協力など地域包括ケアシステムの拠点としての課題も見えて来ました。この結果をふまえ、本協議会の来年度の活動に反映させて老健の機能強化を図って参りたいと思います。

昨年は、まだまだ復興途上の東北を含め、全国各地で地震や風水害などの自然災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしました。広島市では大雨による土砂災害が発生し多くの方がお亡くなりになったのも記憶に新しいところです。災害でお亡くなりの方々を悼み、ご遺族にお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げる次第でございます。

本協議会では、広島土砂災害の際に県が設置した「広島県緊急時公衆衛生チーム」の一員として、発生から約1か月半、理学療法士と作業療法士合わせて221名を被災地に派遣し、被災者支援に取り組みました。その派遣スタッフや県当局からの報告によれば、派遣スタッフの活躍は目覚ましく、避難所での被災者のお話の傾聴や、個別状況に応じた適切なリハビリテーションの提供、リハビリ体操実施による運動意欲と活力の維持などに、大いに貢献したということです。その精力的な活動ぶりは、エコノミー症候群の予防から被災者の精神的負担や苦痛の軽減まで大いに役立ったと、県をはじめ現地スタッフなどからも高く評価されております。

地域包括ケアシステムの構築は、互いに見守り支え合う地域社会の実現に不可欠なものです。こうした自然災害後の緊急派遣のように、機動的に支援活動を実施できるのも多くの老健施設に専門職員が基準以上に配置されていることなどが条件であり、それが将来的にも老健が地域包括ケアの一翼を担うに相応しい存在であり続ける条件と申せます。

最後に、昨年まで全国老人保健施設協会中国・四国ブロックとして実施していた研修事業を本年度からは中国地区支部会として独自に運営する運びとなりました。これは、中国・四国ブロックではあまりに範囲が広く場所によっては受講者派遣が困難なこと、研修事業に対する熱意に地域の温度差があることなどが理由で、本協議会としては今後も充実した研修を推進するための取り組みです。今後は、中国5県各協議会が所管する形で、毎年各県で質の高い介護老人保健施設大会をメインに研修事業を開催して行く予定です。

本年はその先頭を切って広島県での開催が決定しており、11月27・28日の両日、広島国際会議場での大会成功に向け、山口会長を中心に全力で開催準備を進めております。地域包括ケアシステム構築に老健が重要な役割を担えるよう、皆様と協議を重ねる有意義な大会となるよう、ご理解ご協力をお願いする次第でございます。



特集（1）県老健の老健機能実態調査報告概要

平成26年度介護老人保健施設機能実態調査報告概要

広島県老人保健施設協議会 事務局 山本 明芳（みつぎの苑）

介護老人保健施設は、①包括的ケアサービス施設、②リハビリテーション施設、③在宅復帰施設、④在宅生活支援施設、⑤地域に開かれた施設（地域連携）、の5つの役割・機能を有している。国ではこのうち③④の機能が重視され、平成24年度の介護報酬改定では、「在宅強化型」（以下、強化型）、「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」（以下、加算）、それに従来タイプ（加算なし）という新しい介護報酬体系が導入された。

これに対し、広島県老人保健施設協議会では平成25年度には、県内の全地域から20施設を抽出して「在宅復帰・在宅支援状況実態調査」を行い、強化型・加算の有無で利用者の要介護度は大きな違いはなく、在宅サービスの活用状況には差があるものの、地域の社会資源の整備状況による部分も大きいことが示唆された。

続いて平成26年度には、広島県の補助事業として、次年度に始まる第6期介護保険事業計画に向けて、各市町の中で介護老人保健施設が地域包括ケアシステムの拠点となっていくために、5つの役割・機能をどのように果たしているか、「介護老人保健施設機能実態調査」を行い、9割の回収率を得た。この度その報告書がまとまったので、そのまとめと概要を紹介する。

I まとめ

1 包括的ケアサービス施設としての機能

調査結果によると、介護老人保健施設には、医師、支援相談員、リハビリスタッフ、介護支援専門員、栄養士、看護職員、介護職員、薬剤師等の多様な職種の職員が配置されており、多くの職種で基準人員を上回る配置となっている。

また、多職種の職員によるカンファレンスを頻繁に行っており、リハビリスタッフが参加する割合も高くなっている。

一方、点滴による全身管理や経管栄養（経鼻、胃瘻）、喀痰吸引、血糖検査、認知症対応などの多くの医療行為が行われるとともに、看取りへの対応を行っている施設も県全体で5割を超えている。

さらに、リハビリにおいては入所中のリハビリのみでなく、退所後の在宅での自立した生活に向けた支援を行うなどの取り組みが挙げられている。

介護老人保健施設は、常日頃より、入所者の自立を目指し、在宅復帰への支援を行うため、多職種が連携を図り、医療や看護、介護、リハビリなど包括的ケアサービスを提供しており、その機能を更に強化するとともに、地域へ周知し、その機能を地域包括ケアシステムの構築へ生かしていくことが重要である。

2 リハビリ施設としての機能

入所者の在宅復帰を実現し、在宅生活を支援するためには入所中のリハビリとともに、在宅復帰後のリハビリが重要であり、リハビリスタッフがその役割の重責を担っている。

調査結果によると、リハビリスタッフ数の基準人員に対する割合は高くなっているが、退所前後訪問指導、退所後訪問指導への関わりなど、活動によってはその関わりが低いものもある。これは、国が設定している基準人員が低いことにより、十分に関与できていない状況があることが考えられる。

また、訪問リハビリを実施している施設の割合は低く、退所者が訪問リハビリを受けた割合も低く、その対応が十分でない状況が表れている。

介護老人保健施設の在宅復帰支援機能、復帰後の在宅生活支援機能を強化するとともに、地域におけるリハビリテーション拠点としての役割を担うため、リハビリスタッフの配置の充実や訪問リハビリの実施等、リハビリ機能を強化する必要がある。

3 在宅復帰施設・在宅生活支援施設としての機能

入所者の在宅復帰への支援及び復帰後の在宅生活支援は、地域における介護老人保健施設の役割として非

常に重要な役割である。

調査結果によると、入所者に対し、医療や介護、リハビリなど多職種連携による包括的ケアサービスが提供され、在宅復帰へ向けた支援が行われている状況が挙げられている。

また、在宅復帰に関する加算の状況は、在宅強化型、在宅復帰加算の施設を合わせると3割を超え、入所者へのリハビリに関する加算の状況が在宅強化型の施設で高くなっているなど、在宅復帰への体制が強化されている状況も挙げられている。

しかし、退所者の退所先は、医療機関の割合が最も高く、自宅（親族宅を含む）の割合は約3割であり、約6割が自宅や居住系施設以外への退所となっている。

さらに、退所先が自宅（親族宅を含む）である退所者の退所後40日間の居所について注目すると、自宅のみで過ごした割合は全体の5割未満であり、その割合は、在宅強化型の施設、在宅復帰加算の施設が加算なしの施設よりも低い結果となっている。

また、40日間のうち、自宅（親族宅を含む）で過ごした日数が0日である割合が2.1%（ショートステイ+施設、ショートステイのみの回答が多い）、1～5日が16.0%と、両者を合わせると2割弱となっている。

退所先を自宅としながらも、実際は施設でのショートステイを長期間利用したり、ショートステイを利用した後に施設に入所する退所者の存在が明らかになっている。

このようなことから、「在宅強化型」、「在宅復帰加算」の算定方式が実態に即していない状況や退所における対応が介護老人保健施設の理念と乖離している状況、在宅復帰及び在宅復帰後の支援において介護老人保健施設の機能が十分に果たせていない状況などの課題が考えられる。

4 地域に根ざした施設としての機能

介護老人保健施設は多様な機能を有しており、その機能を生かした入所者の家族や地域住民への支援を行うことは重要な役割である。

調査結果によると、地域住民への研修会の開催や地域サロン等への協力、介護予防事業の実施、地域ケア会議への参加、行政との連携、相談の受入、住民ボランティアの受入、など、地域住民への支援や地域との連携を図るなどの取り組みを行っている施設が多くある。

しかし、活動や地域によっては、地域への関わりが十分に行われていない状況も表れており、介護老人保健施設の機能が地域に十分に周知されておらず、連携の方法が確立されていない状況も指摘されている。

一方、地域ケア会議においては、日頃より施設内で多職種連携による取り組みを行う介護老人保健施設のスタッフの参加は有効であると考えられる。

地域に根ざした施設として、多様な機能を生かし、地域住民への支援の充実を図るとともに、行政や関係機関・団体等との連携強化を図り、その機能を地域包括ケアシステムの構築へ生かしていくことが重要である。そのためには、介護老人保健施設の機能を積極的に地域へ周知することも必要である。

5 認知症の入所者へのケア

入所者の認知症高齢者の日常生活自立度をみると95.5%に認知症の症状がみられ、Ⅲ以上の自立が困難な入所者の割合も約5割であり、施設においても認知症ケアが重要であることが示唆されている。

調査結果によると、入所者へのケアとして、認知症対応やリハビリを行っている状況が挙げられている。

一方、退所者の状況では、認知症高齢者の日常生活自立度が重度化するほど自宅（親族宅を含む）への退所の割合は低くなっており、退所先が自宅・親族宅であっても、認知症の症状が重度である場合、退所後40日間で自宅のみで過ごす割合は低く、「0～5日」しか自宅で過ごしていない割合が約3割となっている。

今後、後期高齢者の増加に伴い認知症高齢者の増加が見込まれることから、入所中のケアの充実を図るとともに、認知症であっても在宅生活を継続できる在宅復帰後の支援が重要である。

また、認知症高齢者に対しては、今後医療と介護の連携が更に必要となるため、十分なケアを行うためには多職種の職員がいる介護老人保健施設の役割が重要となる。しかし、現状では十分とはいえず、今後の課題である。

6 介護予防への取り組み

平成27年度から、要支援者が利用する予防給付の訪問介護と通所介護のサービスが、市町による地域支援



特集（1）県老健の老健機能実態調査報告概要

事業に移行するとともに、介護予防事業へのリハビリスタッフの積極的な関与が求められることとなる。

今後の介護予防への取り組みは、社会生活を営むために必要な機能を維持・向上させるとともに、高齢者の生活環境の調整や地域への参加を促進し、生きがいや自己実現のための支援を行うなど、高齢者を取り巻く環境への働きかけが必要となる。

調査結果においては、行政からのリハビリ専門職の介護予防事業への派遣依頼の受入、介護予防マニュアルの作成、介護予防普及啓発事業の実施など、すでに地域における介護予防の取り組みを行っている施設が多くある状況が挙がっている。

また、市町の介護予防事業を「受けられる」と回答した施設は6割を超えている。

今後は、リハビリスタッフの十分な配置や地域で活躍できるリハビリスタッフの育成など、介護老人保健施設のリハビリ機能を更に強化するとともに、地域の介護予防拠点としての役割を担っていくための体制を強化する必要がある。

II 報告書概要（抜粋）

1 調査概要

老健が地域包括ケアシステムの中核となっていくために、広島県内の各施設が各市町で老健の理念である5つの役割・機能をどのように果たしているか実態調査を行った（広島県の補助事業）。

広島県内の療養型老健を除く102の介護老人保健施設を調査対象として、平成26年8～10月に調査を行い、92施設（回収率90.2%）から回答を得た（表1）。

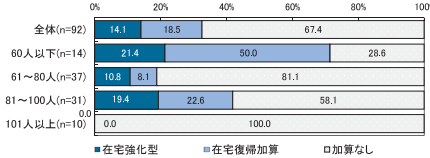
（表1）市町ごとの回収施設数

市町	回収数	市町	回収数	市町	回収数	市町	回収数
広島市	29	三次市 三原市	4	庄原市 府中市	2	安芸高田市 江田島市 府中町・海田町 熊野町・坂町 北広島町 大崎上島町 神石高原町	1
福山市	14						
呉市	11	東広島市 廿日市市 竹原市	3	大竹市 安芸太田町 世羅町	0		
尾道市	8						

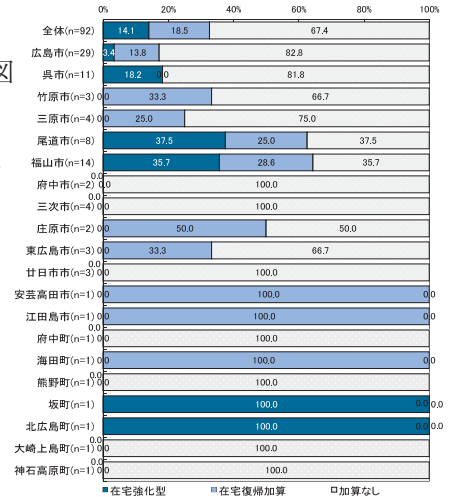
2 施設の機能

算定状況では、強化型14.1%、加算18.5%と約3割の施設が算定し（図1）、定員101人以上の施設は加算なしであった（図2）。

（図2）算定状況/定員規模別



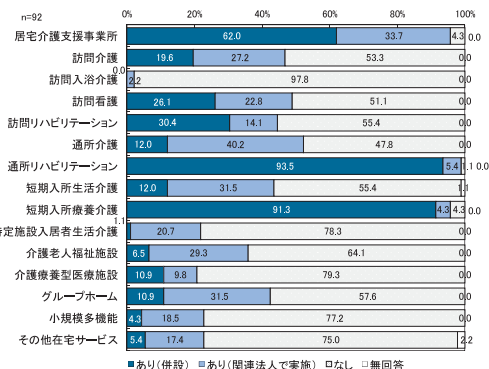
（図1）算定状況/市町別



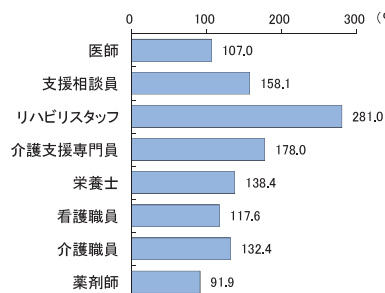
併設サービスでは、老健が通常併設している通所リハビリと短期入所療養介護の2サービス以外で多いのは、①併設25%以上は、居宅介護支援、訪問リハビリ、訪問看護、②同法人40%以上は、通所介護、短期入所生活介護、グループホーム、であった（図3）。

職員配置では、リハビリスタッフは基準の3倍近く配置されていた（図4）。

（図3）併設サービス



（図4）職員数の施設基準員に対する割合



3 入所者の状況

平均在所期間は全体で1年5か月、6か月以上の入所者は45.5%で、長期化傾向がある（表2・3）。

（表2）平均在所期間/市町別

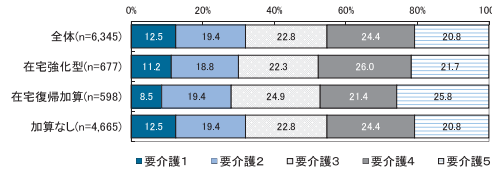
市町村	回答数	在所期間	市町村	回答数	在所期間
県全体	76	1年5か月	廿日市市	3	2年2か月
広島市	26	1年7か月	安芸高田市	1	4か月
呉市	10	1年3か月	江田島市	1	9か月
竹原市	3	1年8か月	府中町	1	5か月
三原市	3	1年3か月	海田町	0	—
尾道市	7	1年1か月	熊野町	1	9か月
福山市	10	1年3か月	坂町	1	4か月
府中市	1	11か月	北広島町	0	—
三次市	3	1年8か月	大崎上島町	0	—
庄原市	2	1年4か月	神石高原町	1	6か月
東広島市	2	3年1か月			

（表3）6か月以上の入所者の割合/市町別

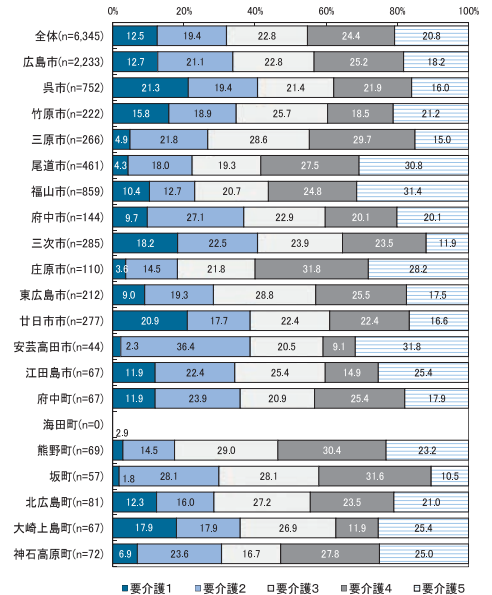
市町村	回答数	入所者数（4月）	6か月以上の入所者の割合	市町村	回答数	入所者数（4月）	6か月以上の入所者の割合
県全体	81	6742.0人	45.5%	廿日市市	3	286.0人	65.7%
広島市	27	2262.0人	55.8%	安芸高田市	1	43.0人	23.3%
呉市	10	832.0人	40.0%	江田島市	1	70.0人	54.3%
竹原市	3	218.0人	21.6%	府中町	1	68.0人	29.4%
三原市	4	344.0人	50.9%	海田町	0	—	—
尾道市	7	500.0人	20.8%	熊野町	1	73.0人	46.6%
福山市	11	960.0人	38.8%	坂町	1	64.0人	20.3%
府中市	1	137.0人	34.3%	北広島町	1	81.0人	16.0%
三次市	3	288.0人	52.8%	大崎上島町	1	61.0人	82.0%
庄原市	2	114.0人	44.7%	神石高原町	1	75.0人	73.3%
東広島市	2	216.0人	46.8%				

要介護度では、全体で要介護4・5は45.2%で、強化型・加算などの算定状況ではあまり差がなく、地域差（施設間の差）が大きい（図5・6）

（図6）要介護度/市町別



（図5）要介護度/市町別

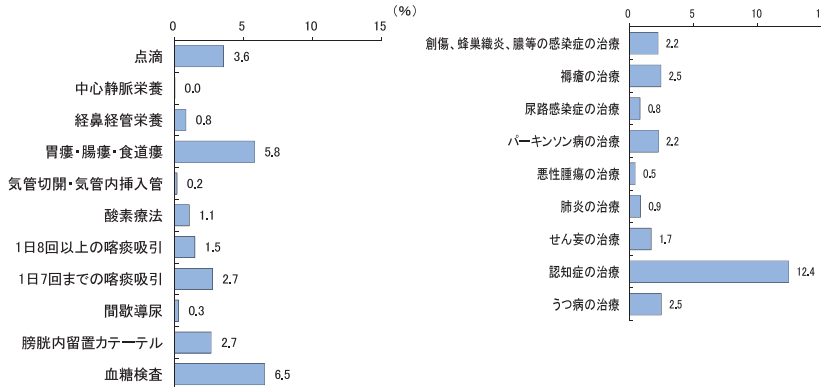


包括的ケアサービスについて

4 医療の状況

医療ケアは、認知症の治療、血糖検査、胃瘻・腸瘻・食道瘻などが多く、ほかにはパーセンテージは少ないが種類が多い（図7・8）。

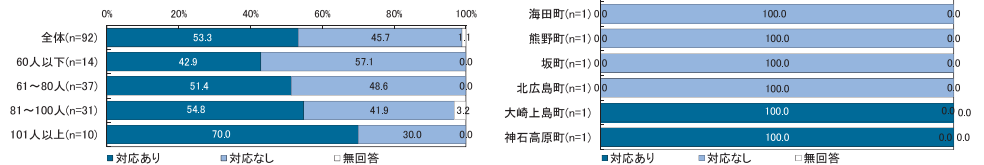
（図7）医療行為（4～6月平均）を（図8）治療を行った入所者（4～6月平均）の割合



県全体で5割以上の施設が看取りに取り組み、定員の大きい施設の方が多く取り組んでいる

（図9・10）

（図10）看取りへの対応/定員規模別



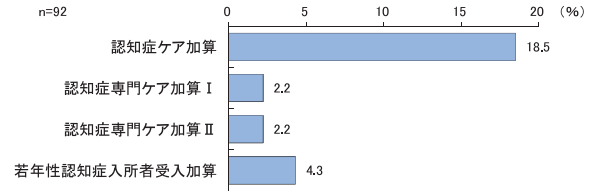


特集（1）県老健の老健機能実態調査報告概要

5 認知症ケアの状況

認知症ケア加算の算定できる施設（認知症専門棟を有している施設）は2割に満たず、認知症専門棟は定員の大きい施設ほど有している割合が高い（図11・12）。

（図11）認知症ケア加算の算定/定員規模別

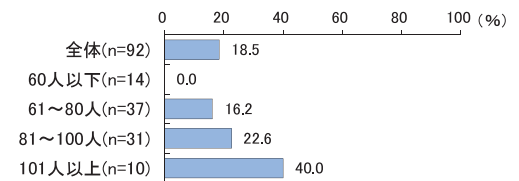


リハビリテーション・地域連携について

6 リハビリの状況

リハビリスタッフによる訪問指導やカンファレンスの割合は高いが、住宅改修・福祉用具・シーティングなど住環境調整への関わりが少ない（表4・5）。

（図12）認知症ケア加算の算定/定員規模別



（表4）リハビリスタッフの関わり/市町別

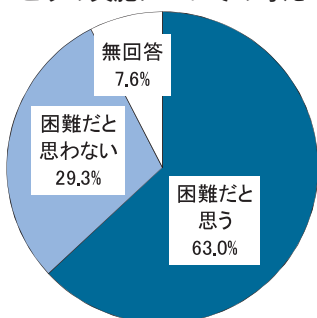
	回答数	入所者数	福祉用具の処方に 関わった割合	シーティングに 関わった割合	退所者数	住宅改修に 関わった割合	福祉用具のアドバ イスをした割合
県全体	92	6,667	8.7%	6.6%	787	7.3%	15.7%
広島市	29	2,247	7.5%	8.2%	215	10.2%	13.8%
呉市	11	830	2.4%	7.9%	97	4.5%	10.0%
竹原市	3	220	3.8%	2.4%	14	0.0%	4.7%
三原市	4	343	2.0%	1.5%	26	3.8%	5.1%
尾道市	8	477	33.0%	13.4%	121	1.7%	21.3%
福山市	14	948	2.6%	3.0%	123	8.2%	14.4%
府中市	2	136	1.5%	7.1%	18	7.5%	17.0%
三次市	4	287	48.3%	2.8%	19	17.2%	15.5%
庄原市	2	111	12.0%	32.6%	26	20.8%	22.1%
東広島市	3	210	3.8%	3.6%	19	1.8%	1.8%
廿日市市	3	282	0.0%	0.9%	14	0.0%	0.0%
安芸高田市	1	42	2.4%	0.0%	14	2.3%	20.9%
江田島市	1	69	6.8%	1.9%	11	0.0%	51.5%
府中町	1	67	0.0%	0.0%	11	0.0%	0.0%
海田町	1	48	12.4%	0.0%	3	22.2%	55.6%
熊野町	1	71	0.9%	3.3%	12	8.6%	8.6%
坂町	1	60	15.6%	10.6%	15	9.1%	54.5%
北広島町	1	81	10.7%	7.8%	22	21.2%	33.3%
大崎上島町	1	63	0.0%	0.5%	2	0.0%	0.0%
神石高原町	1	73	0.5%	4.6%	7	0.0%	0.0%

（表5）退所者へのケアの状況/市町別

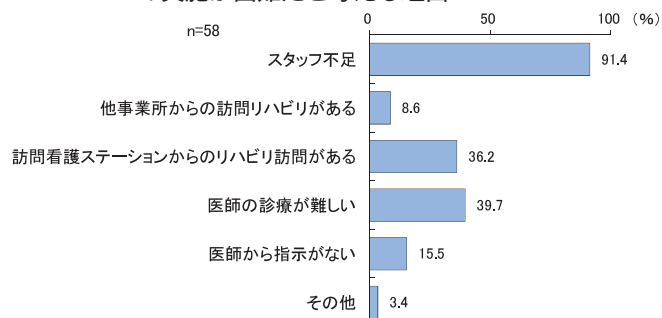
	回答数	退所前後訪問 指導回数	リハスタッフが 参加した割合	回答数	退所後訪問 指導回数	リハスタッフが 参加した割合
県全体	54	1.2回	97.9%	27	1.9回	55.4%
広島市	15	1.6回	100.0%	6	1.1回	55.0%
呉市	5	0.9回	100.0%	2	1.2回	14.3%
竹原市	0	—	—	0	—	—
三原市	2	0.7回	100.0%	1	1.7回	100.0%
尾道市	4	1.2回	100.0%	4	5.9回	63.4%
福山市	10	0.9回	96.3%	7	1.1回	66.7%
府中市	2	0.7回	100.0%	1	1.0回	100.0%
三次市	4	0.8回	100.0%	0	—	—
庄原市	2	2.7回	100.0%	1	4.7回	0.0%
東広島市	2	0.3回	100.0%	1	0.3回	100.0%
廿日市市	0	—	—	0	—	—
安芸高田市	1	0.3回	100.0%	0	—	—
江田島市	1	0.7回	100.0%	0	—	—
府中町	1	0.3回	0.0%	0	—	—
海田町	1	0.7回	100.0%	1	1.7回	0.0%
熊野町	1	0.7回	0.0%	1	0.7回	—
坂町	1	1.0回	100.0%	1	0.7回	100.0%
北広島町	1	4.3回	100.0%	1	1.0回	100.0%
大崎上島町	0	—	—	0	—	—
神石高原町	1	1.3回	100.0%	0	—	—

訪問リハビリは3～4割強の施設が実施している（図3）が、6割以上の施設が実施困難と感じており（図13）、そのうち「スタッフ不足」を理由に挙げる割合が最も高く9割を超えている（図14）。

（図13）介護老人保健施設の訪問リハビリの実施についての考え



（図14）介護老人保健施設の訪問リハビリの実施が困難だと考える理由



7 介護予防の状況

市町から介護予防事業の依頼を受けた実績のある施設は約2割だが、依頼あれば受託の可能性ありとしている施設がその3倍以上ある。(図15、表6、図16)。

(表6) 依頼の内容

No.	分類内容	個数
1	介護予防教室	5
2	転倒予防	2
3	特定高齢者(予防)事業	2
4	2次予防事業	1
5	パワーリハビリ研修	1
6	ふれあいサロンへの職員派遣	1
7	高齢者筋力トレーニング事業	1
8	生活機能維持向上	1
9	地域サロン	1
10	地域支援事業(元気ハツラツ)	1
11	地域の公民館にてリハ体操	1

リハビリスタッフの派遣実績のある施設は3割で、広島・福山市とも3~4割の施設で実績がある(図17)。

8 地域連携の状況

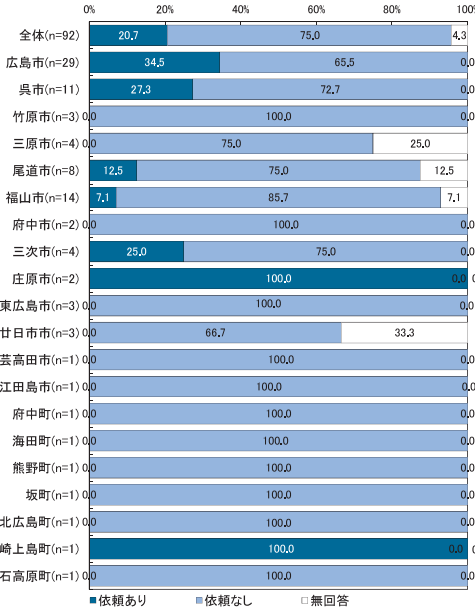
地域ケア会議への参加施設は全体で37.0%、広島・福山市は17.2%と14.3%で、大都市で低い(図18)。

地域包括支援センターは老健の法人の約半数が設置している(居宅介護支援は95.7%設置)(表7)。

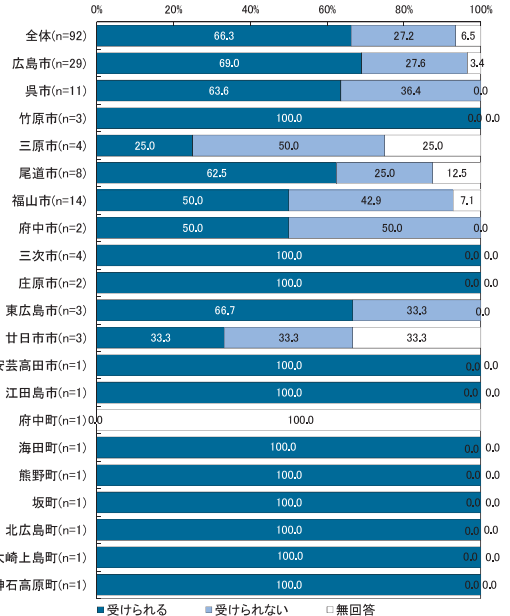
(表7) 地域包括支援センター等の設置状況/市町別

	回答数	併設または同一敷地内に設置	場所は異なるが日常生活圏域内に同一法人が設置	日常生活圏域外に同一法人が設置	未設置	その他	無回答
県全体	92	19.6%	18.5%	9.8%	42.4%	7.6%	6.5%
広島市	29	10.3%	17.2%	17.2%	51.7%	6.9%	—
呉市	11	9.1%	45.5%	27.3%	36.4%	—	9.1%
竹原市	3	33.3%	—	—	66.7%	—	—
三原市	4	25.0%	—	—	25.0%	—	50.0%
尾道市	8	25.0%	12.5%	—	62.5%	—	—
福山市	14	35.7%	28.6%	—	28.6%	7.1%	—
府中市	2	50.0%	—	—	50.0%	—	—
三次市	4	—	—	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
庄原市	2	50.0%	50.0%	—	—	—	—
東広島市	3	—	—	—	66.7%	33.3%	—

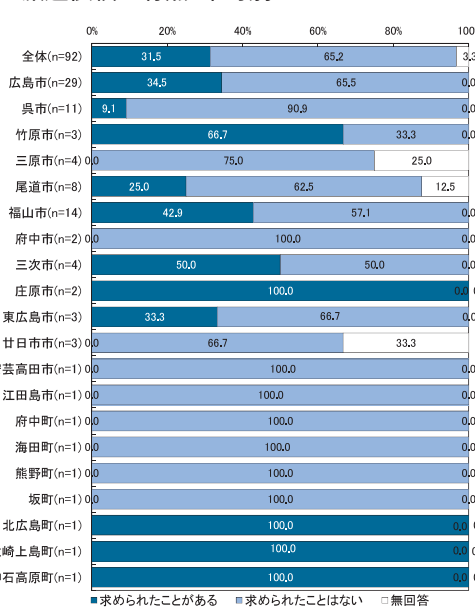
(図15) 依頼を受けた経験/市町別



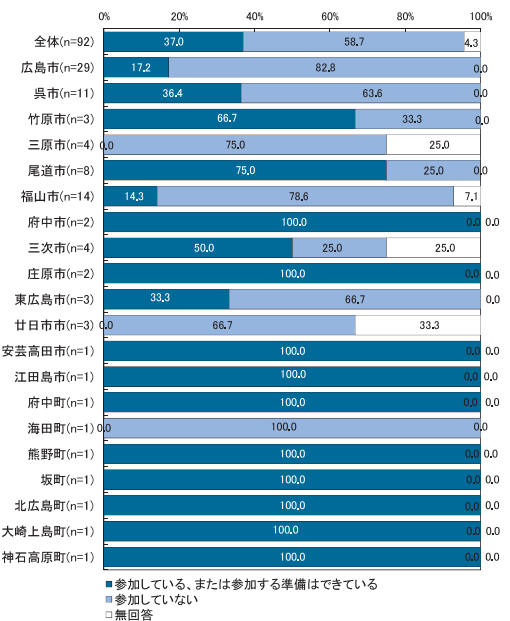
(図16) 今後の受託の可能性/市町別



(図17) これまでのリハビリスタッフの派遣依頼の有無/市町別



(図18) 地域ケア会議への参加状況/市町別





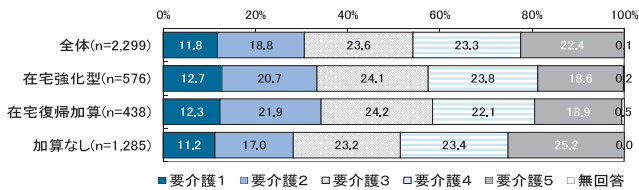
特集（1）県老健の老健機能実態調査報告概要

在宅復帰・在宅生活支援について

9 退所後の状況（個人票）

入所中の要介護度の割合は算定状況別ではあまり変わらないが（図6）、退所者で要介護4・5の割合は「加算なし」がやや高い（図19）。

（図19）退所日の要介護度/算定状況別

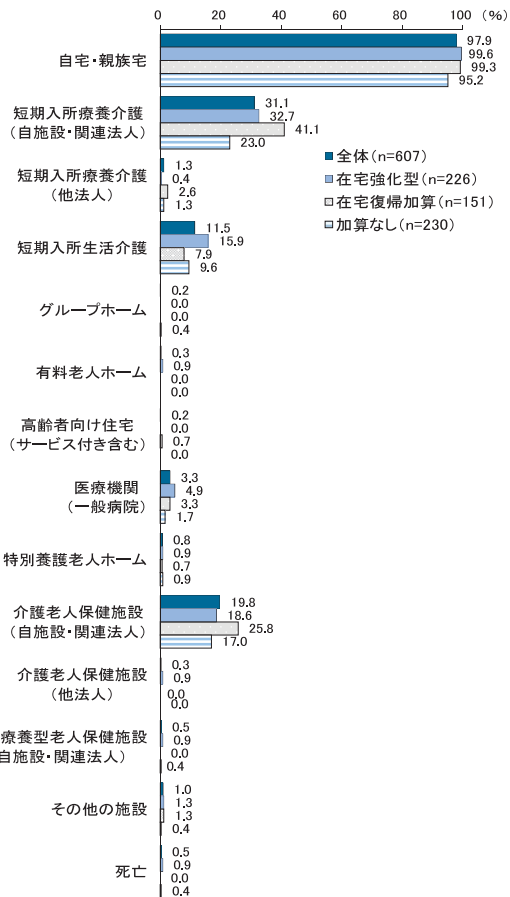


退所先は、「強化型」「加算」は、「自宅・親族宅」「グループホーム」「有料老人ホーム」「高齢者向け住宅」が多く、「加算なし」は、「医療機関」と「特養」が多い（図20）。

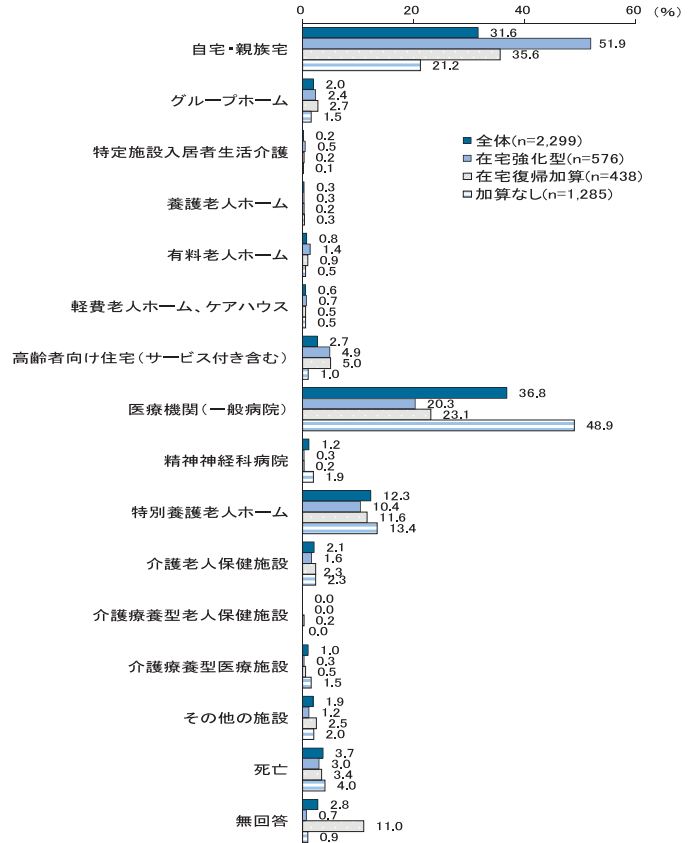
訪問リハビリテーションは併設や自法人での設置はあるが退所者での利用が少ない（図21）。

「強化型」「加算」の算定対象となってもショートステイや再入所の利用があり、実質的に自宅で過ごす日数が短い場合がある（図22、表8）。

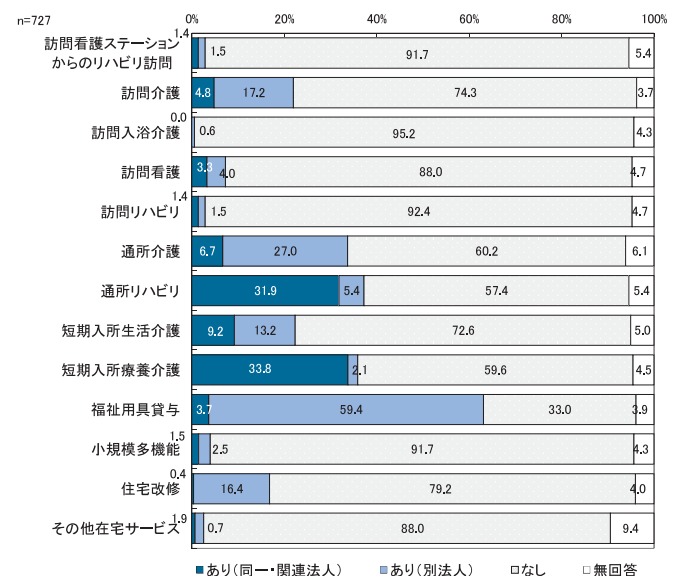
（図22）在宅復帰後40日間の居所/算定状況別



（図20）退所先/算定状況別



（図21）介護サービスの利用状況/サービス別



(表8) 自宅・親族宅で過ごした日数

	回答数	0日	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日
全体	607	2.1	16.0	6.3	6.6	4.3
在宅強化型	226	0.4	17.3	6.6	8.8	4.4
在宅復帰加算	151	0.7	15.9	4.6	6.0	5.3
加算なし	230	4.8	14.8	7.0	4.8	3.5

	回答数	21～25日	26～30日	31～35日	36～39日	40日
全体	607	5.9	6.1	6.1	4.1	42.5
在宅強化型	226	6.6	6.2	6.2	6.6	36.7
在宅復帰加算	151	6.6	9.3	9.3	3.3	39.1
加算なし	230	4.8	3.9	3.9	2.2	50.4

これらから、「強化型」「加算」の算定方法が老健の理念と実態に即しておらず、在宅復帰後の支援に課題が伺える。

10 結果要約

1) 施設の機能

- ・算定状況では、強化型14.1%、加算18.5%と約3割（定員100人以上は加算なし）
- ・職員配置では、リハビリスタッフは基準の3倍近く配置

2) 入所者の状況

- ・平均在所期間は全体で1年5か月、6か月以上の入所者は45.5%で、長期化傾向
- ・要介護度は、算定状況ではあまり差がなく、地域差（施設間の差?）がある

3) 医療の状況

- ・医療ケアは、認知症対応、血糖検査、胃瘻・腸瘻・食道瘻などが多く、ほかは種類が多い
- ・看取りは、県全体で5割以上が取り組み、定員の大きい施設の方が多く取り組む

4) 認知症ケアの状況

- ・認知症専門棟のある施設は2割で、定員の大きい施設ほど併設している割合が高い

5) リハビリの状況

- ・リハビリスタッフによる訪問の割合は高いが、住環境調整への関わりが少ない
- ・訪問リハビリは3～4割の施設が実施するが、6割以上の施設が実施困難と感じている

6) 介護予防の状況

- ・市町から介護予防事業の依頼の実績は約2割、対応できる施設は6割（特にリハビリ）

7) 地域連携の状況

- ・地域包括支援センターは老健の法人の約半数が設置

8) 退所後の状況（個人票）

- ・退所後40日間の居所、退所後のショートステイやリハビリの利用状況、認知症の程度などから、「強化型」「加算」の算定方法が老健の理念・実態に即しておらず、在宅復帰後の支援に課題が伺える

（平成27年1月24日 広島県介護老人保健施設大会にて中間報告）



特集（2）老健での「看取り」の実践報告

介護老人保健施設愛生苑での看取りの実践報告

介護老人保健施設愛生苑

厚生労働省人口動態調査によると、介護老人保健施設（以下老健）を死亡場所とする年次死亡数・割合は1994年（平6）には1,355人・全体の0.2%であったが、2011年（平23）には18,393人・全体の1.5%を占めるようになってきている。

老健の理念と役割について、5つの役割、包括的ケアサービス、リハビリテーション、在宅復帰、在宅生活支援、地域に根ざした施設が掲げられている。看取りについては明記されておらず、利用者の長期の在宅療養支援の結果であるとして重大には評価されていない。しかし、住み慣れた地域で長く暮らした結果、最期を迎えるのであり、他の死亡場所も限られている現状から、今後、老健での看取りは増加し、隠れた6番目の役割となるものと予想される。

また、老健での看取り、終末期ケアの実践は、各々の施設で多様であると考えられ、今日までの医療・看護スタッフの経験から行われているのが現状かと思われる。平成21年、老健でのターミナルケア加算が始まり、平成24年3月、全国老人保健施設協会は、「介護老人保健施設における看取りのガイドライン」を作成、それを各施設の実情に応じ、書きかえ使用することをすすめている。

介護老人保健施設「愛生苑」は、入所者定員70床、通所リハビリ定員50人、在宅復帰・在宅療養支援機能加算算定施設（加算型）の施設である。旧庄原市にあり、平成8年に開設、本年20周年を迎える。

また、中山間地である庄原では、小家族化が進み、独居、老老世帯、就労している家族、働く世代の子供たちは都市に就職・移住していることが多く、家庭介護力が弱く、家で看取りを困難としている。平成19年より現在までの当施設での死亡者数は表のごとく50名で、うちターミナルケア加算を行ったものは42名である。

年度	死亡者数	ターミナルケア加算者数
19年	1	
20年	1	
21年	3	2
22年	9	9
23年	12	11
24年	11	9
25年	9	8
26年	4	3
計	50	42

当苑でのターミナル加算による看取りは、全例認知症の重度化、終末期によるもので、すなわちADL低下進み、寝たきり、えん下困難となられた方たちであり、悪性腫瘍等によるひとはない。

漠然とターミナルが近づいた時点で、本人・家族等に対して医師、支援相談員、看護師が病状の説明と、医療的処置、死亡場所の決定等についてまず話し合いを行う。次いで、ターミナルがより近くなった感じられる時期に、同一メンバーで看取り場所の選択、決定と、看取り前の医療的処置について、誤解のないよう十分時間をかけて複数回にわたり具体的に内容を説明、確認をしている。そこでの、説明内容、確認事項、同意者名についてはカルテに記録している。同意書作成までに至っていないが、将来的には同意書が必要となると思われる。

胃ろう造成について、本人による事前指示書がある事例はなく、家族・支援者等がその決定をしている。胃ろうで長生きするのがよいか、少しでも口から食べて最期を迎える自然死がよいか十分、話し合いを行っている。家族が多い場合は、ときに決定が遅れ、全身状態が不良となり、胃ろう造成が不能となった例があった。最近、生命の延長線にある死についてQOLよりQOD(Quality of Death)であるという考えが広がり、認知症終末期の胃ろう造成の是非問題は少なくなっているが説明義務という面から、早期の説明が必要だろう。

そして、より自然に任せた看取りとなるよう、ST、医師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士、介護士等の多職種で、安全に口から食べるように取り組んでいる。本人の食べる機能、意欲を評価、本人・家族等の食べることへの認識の確認と調整、口腔ケアを行い、意識レベルを上げ、食べることに注意・意欲を高めるようにし、アイドリングとしてゼラチン、トロミ弱の液体を摂食、バイタルチェックを行う。えん下反射が起こらない場合は、窒息を起こす可能性があり、摂食は中止、家族等と話し合いを行い、終末期には、家族等同席でお食い締めを行い、お互いの死生観を育てることにしている。

看取り期の医療処置については、老健と病院との違いを説明し、点滴、酸素、吸引、鎮痛剤、鎮静剤の範囲の使用にとどめ、AED、人口呼吸等の救命措置は行わないことを説明、了承を受けることにしている。

認知症終末期には、ほとんど意識も薄れ、苦痛・疼痛の訴えもなく、穏やかに最期を迎え、吸引、鎮痛・鎮静剤を使用することはきわめて希である。

亡くなられた際の見送りは、施設の裏口からそっと送り出すのではなく、正面玄関から多くの職員に見送られ施設を出発することになっている。

終わりに、ベストな看取りは個人ごとにあり、社会全体でこれがベストであるとは言えない。これから多死社会を迎えるにあたり、自分はどうやって死を迎えるかそれぞれの人が考え、決定しておく時期が到来しており、事前指示書、家族・支援者等での話し合いが必要となっているように思われる。

当施設での看取り実践報告

医療法人社団石見会 介護療養型老人保健施設いわさき 看護主任 斉藤 利恵子

1. はじめに

「介護療養型老人保健施設いわさき」は、平成21年4月1日に指定介護療養型医療施設（旧 岩崎病院）から転換・開設した（介護療養型）老人保健施設です。

開設以来当施設で亡くなられた方は140人。施設でありながら医療行為の必要な入所者が多く、平均介護度は『4』です。現在入所者は88名（平成26年12月31日現在）で、要介護1（1名）、要介護2（5名）、要介護3（5名）、要介護4（40名）、要介護5（37名）であり、ほとんど寝たきり状態の方が8割を占めています。

看取りに携わった方の中で自分自身での関わり方、今後の課題について考えてみました。

2. 看取りの現状

介護療養型老人保健施設「いわさき」の職員体制は、管理者（医師）、医師1名、看護職員18名、介護職員23名、リハビリ職員3名、介護支援専門員（支援相談員兼務）1名、管理栄養士1名です。夜勤は看護職員2名、介護職員3名、医師で対応することになっています。

転換前は介護療養型医療施設でした。急性期の治療が終わり、病状が安定したものの長期の治療が必要な方が対象で、医療や看護を受け、介護の体制が整った医療施設で長期介護・医療のケアを必要とするための長期入院であり、入院していた患者様が転換後そのまま老人保健施設への入所の形を取りましたので、特に問題はありませんでした。

夜勤体制も療養型医療施設と同じ体制で、急変、重症者、終末期を迎える事に対して戸惑いはありませんでした。

たとえば急変時、医師へ報告、医師より指示を受けて、レントゲン・採血・点滴・酸素吸入・抗生剤投与・内服投薬を必要に応じて看護師が対応し、当施設で出来る限り治療を行います。

しかし、いずれの医療行為を行うにもすべて施設の持ち出しで行い、24時間看護職員が必要となるため、コストがかかります。現状と制度との矛盾を強く感じています。

看取りの同意は入所時には行っておりません。そのために医師は病状・症状変化があれば必ず電話にて治療の同意を得るために必要十分な説明を行い、家人の来所時に再度説明し、経過を見ながら転院か看取りなのかを話し合い、決定されています。

3. ターミナルケアに携わっての葛藤

療養型医療施設からの転換の為、当施設への紹介は、医療を必要とする、糖尿病、前立腺がん、脳腫瘍、パーキンソン病、脳血管疾患、心疾患等が多く、施設でありながら医療のケアの必要性が高くコストも全部持ち出しになります。

しかし、入所されて来られる方は、『もうこれ以上の治療は望みません』『高齢なので延命は希望しません』等という思いで施設へと変えられる方、『癌の治療中で2～3週間に1回の治療を行うけど、治療中以外は自宅へ』と言われ入所される方、誤嚥性肺炎を繰り返し、良くなれば医療機関ではすぐに退院を勧められる



特集（2）老健での「看取り」の実践報告

方等が多く入所されます。

ほとんどの入所者は、いつ急変するかわからない方が大半ですが、看護職員は看取りにある利用者の状況を見極め、たどる経緯を予測した上で医師、看護職員、介護職員、管理栄養士、介護支援専門員、リハビリ職員と話し合いを行い、可能な限り尊厳と安楽を保ち、安らかな死が迎えられるよう全人的なケアの提供に向けてそれぞれの立場に関わり、問題なく看取りができる場合があります。

また、我々は長年ケアを行っていますが、家人も施設で看取り希望されていても急変、重症となり、医師から医療機関を勧められれば家人もそれに従うしかない場合、どのように医師との連携を取ってあげれば良いのかと自分の中での葛藤を感じます。

※家人が希望されても当施設で看取りが出来なかった方…61名

4. おわりに

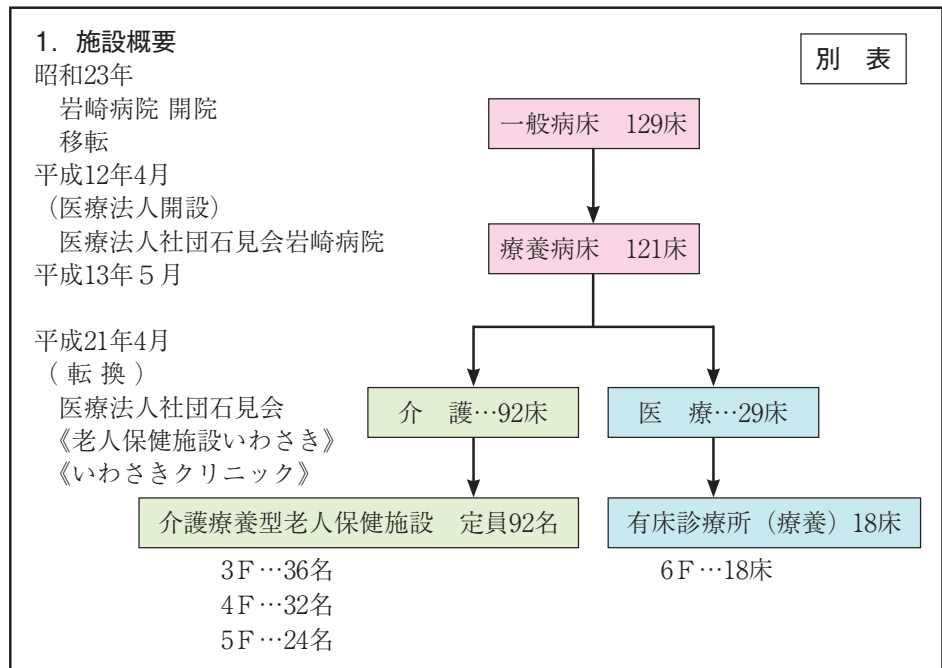
看取りに携わっている看護職員として大切にしている事

- ① 身体的な苦痛に対して療養環境整備。特に湿度、温度、騒音、ベッドの硬さ。
- ② 穏やかな態度で相手のことをひたすら考えて、安らぎを得られるよう努める。
- ③ 相手の対話能力が低下したときも対話の心構えを保ち、スキンシップを行う。
- ④ 家人へ変化していく身体状況や介護内容については定期的に医師からの説明を促す等。

まだまだ大切なことはあると思いますが、これが私の現状です。

ターミナルケアへの取り組みは出来ており、同意の確認、体制、役割は形成されつつありますが、まだまだ職員教育、中でもご家族への援助が不足しているのではないかと…。と、これからの課題だと思っています。ご本人、ご家族が当施設での看取りを望まれる場合、全員が当施設で終末を迎えられるよう、努力していきたいと思っています。

最後に平成27年4月の介護報酬はマイナス改定が見込まれており、安定した施設運営、良質なサービスの提供を行えなくなるのではないかと不安が募っていくばかりです。



施設での看取りにおける家族支援の一事例

介護老人保健施設 サンスクエア沼南 看護師 依田 久美子

1. はじめに

医療が不十分な生活の場で看取りを行うことは、自然の摂理に任せた看取りができ、穏やかな最期を迎えられること、馴染みの環境の中で最期をその人らしく迎えられることが大きな意義であると言われている。家族は、意思決定を行う時に葛藤や迷いを示すため、予測される呼吸状態や意識の変化などについてわかり

やすく説明することで、家族が混乱せずに看取りの準備が出来るよう支援していくことが必要である。今回、聴覚障害のあるキーパーソンに対し、状態変化の説明方法を検討しながら看取りを行った。その中で入所者家族が看取りの準備をしていくための必要な支援について再考したので報告する。

2. 事例

A氏 90歳代 平成26年8月永眠

病名：腰部脊柱管狭窄症 脳梗塞 胃腫瘍OP後

キーパーソン：A氏は長男と同居していたが、次女を頼りにしていた為、キーパーソンは次女（聴覚障害者）である。次女は、筆談や手話、口話法でコミュニケーション可能。

(1) 入所から全介助になるまで

平成21年9月に脳梗塞後、右片麻痺の状態となり、リハビリ目的にて入所する。入所時、車いすは自操し、食事も自力摂取可能な状態であったが臥床傾向であり、仙骨部に褥瘡が見られた。また、膀胱留置カテーテルを挿入していた。そのため、離床時間を増やす、褥瘡の悪化を防ぐ、尿路感染を防ぐため水分補給を行うことを目標にケアを開始した。家族とのコミュニケーションは、面会時は筆談を行い、発熱など急な状態の変化の時の連絡には、FAXを使用し、状態を伝えるように努めた。

その後、褥瘡も完治し、排泄はトイレを使用できるまでに回復したが、平成23年10月頃から、両上下肢の筋委縮が著明となり、平成25年10月頃には、座位保持困難な状態で、食事摂取は全介助の状態となっていた。

(2) 看取り期のケア

平成26年1月、全身浮腫著明、嚥下状態不良により内服薬が中止となった。医師からは、心身機能の障害が回復不能な状態であることが伝えられ、当施設における看取りに関する指針を読んで頂き、近い将来、死に至ることが予測されることや今後の医療、介護についての説明を行った。次女より「お母さんは、食べることが楽しみだったから出来るだけ口から食べさせてあげたい」との意向が医師に伝えられた。看護、介護が連携を図り、食事の支援、入浴を好まれていたので、苦痛の無いよう身体面の介助を行い入浴していくことを筆談で説明し、同意を得た。重症化し看護師が関わることが多くなっていく中で、介護スタッフは、整容や環境に気を配り、部屋に写真などを飾り、家族が面会に来られた時は、日々の生活の様子を伝えた。家族が、A氏の口の動きを読み取れなくなってきたことから、介護スタッフが間に入りA氏とコミュニケーションが取りやすいように手を握らせて良い表情を見せてあげるよう工夫した。

同年5月、嚥下機能の低下により食事形態の検討を行い、カロリー補給ゼリーに変更したこと、喀痰も多く、夜間に痰が気道を閉塞する危険性があることを伝えた。また急変時、FAXでは不在の場合連絡がつかないため、電子メールを利用することにした。8月に入ると、医師より週3回の補液の指示があり、面会時に説明した。亡くなる二日前より経口摂取量は半分以下と減り、前日には摂取できない状態となったため電子メールで状態を伝え、夕方、家族の面会があった。次の日の早朝、呼吸停止となり、直ちに電子メールで連絡した。すぐに施設に来られ、医師により死亡確認が行われた。後日、電子メールで「危篤の場合は、お母さんの傍にいて見てあげたかった」との思いを知った。

(3) A氏を看取り感じたこと

聴覚障害のある家族に対して、筆談やFAX、電子メールを利用し、これから起こること、急変の可能性があることを分かりやすい言葉で説明したが、上手く伝えられたかどうか不安があった。また、文章だけでのやり取りでは、気持ちの変化など読み取りにくく、一方的な状況の説明にとどまってしまうのではないかとと思われる。今回の場合、最期の過ごし方まできちんと把握することができず課題が残った。本事例を通し、家族の気持ちの理解と心理的サポートを実践するためには、状態の変化に際し、家族の思いを具体的に共有することと会話や表情から真のニーズを把握する努力が重要であると感じた。

しかし、死が近いことを伝えた時、家族からは「混乱はなかった。スムーズに受け入れることが出来た」と言われたことは、看取り期からではなく元気な頃から日常の様子などを伝え信頼関係を築いていたためと思われ、徐々に変化する状態を理解してもらうことで、家族の不安軽減につながるものと考えられる。また、電子メールを使用し、画像と合わせ日常生活の様子など伝える方法は、今後コミュニケーションを深める1つのツールとして活用できるのではないかと考える。



広島県西部認知症疾患医療センターの紹介

広島県西部認知症疾患医療センター センター長 井門 ゆかり（メープルヒル病院）

当センターは、大竹の医療法人社団知仁会メープルヒル病院に、平成22年7月、広島県で最初の認知症疾患医療センターとして、三原病院（広島県東部認知症疾患医療センター）と同時期に設置されました。精神保健福祉士・看護師による認知症の専門医療相談、認知症専門医（センター長）による専門外来を毎日行っています。専門外来は予約制で、特に初診の患者様は、色々な検査に時間がかかることから、ぜひ予約をお願いしたいと思います。

現在、広島県の認知症疾患医療センターは、9か所あり、2次医療圏ごとに1か所となっていますが、当センターでは、島根県の吉賀町や益田市、山口県周南市などかなり遠方から受診に来られるケースも、比較的多くあります。その理由としては、お近くに認知症の専門医がいない、ということと、典型的でないケースでは診断が難しい、ということがあるのかと思います。一般医師の思い描く典型的な認知症像は、アルツハイマー型認知症の中等度以降の状態かと思いますが、認知症の前段階の軽度認知障害（MCI）やごく初期のアルツハイマー型は、慣れていないと、「問題なし」と言われてしまうことがよくあります。また、血管性認知症やレビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症など、アルツハイマー以外の認知症も、診断がつきにくいことがあります。

認知症初期の方は、少し分からないことがあっても取り繕って話を合わせようとされますし、ほとんどの方は気づき難いので、私共は、3分で出来る「井門式認知機能スクリーニング検査（ICIS）」というものを開発しました。2014年の日本老年医学会雑誌(51:356 - 363)に掲載されましたので、J-stageというインターネットのサイトから、どなたでも自由に論文をダウンロードすることが出来ます。医療・介護関係の専門職の方向けの研修会などでも、ご紹介させていただいていますが、誰でも簡単に行って頂くことができます。周りの方で、もしかして？と心配な方がおられたら、一度ICISを試してみte頂くと、それほど心配なさそうだ、とか、ちゃんと診てもらった方が良さそうだとか、見当をつけることが出来るのではないのでしょうか。といっても、何か気になることがある場合は、受診をお勧めします。

医療と介護の連携強化ということでは、平成24年度より広島県のモデル事業で地域連携パスに取り組み、平成26年度より広島県共通の認知症地域連携パス「ひろしまオレンジパスポート」を使用開始。連携ツールとしての普及・活用に努めています。認知症というご病気は、医療と介護、その他多くの関係者が必要に応じて上手に連携して（有機的な連携）、患者さんとご家族を支えていく必要があります。

入院面での当院の特徴としては、認知症重症度別の病棟と、複数主治医制ということが挙げられます。認知症病棟は、中等度・重度・最重度の重症度別になっています。必要に応じて精神科・内科・神経内科の医師が複数で主治医となり、効率的な治療に努めています。リハビリのスタッフも多く、PT・OT活動も活発に行っていますが、STによる嚥下機能評価や訓練などにも非常に力を入れています。

認知症疾患医療センターの使命として、認知症に関する啓発活動も積極的に行っており、数多くの講演会、研修会などをさせて頂いております。社会全体の認知症に対する理解が深まることで、発症早期に気付



院内の見晴らし庭園から瀬戸内海を望む景色

いて受診し、適切な治療・ケアへ円滑につなげることができれば、認知症の進行を緩徐化し、住み慣れた地域での生活を長く続けて頂けるのではないかと考えております。

住み慣れた地域での生活を出来るだけ長く続けて頂くためのお手伝いとして、認知症初期集中チームという活動も広がってきています。これは、認知症診断の初期から、適切な医療や介護サービスの利用、生活環境の改善などの支援を行い、出来るだけ良い経過を辿れるようにして頂こうという活動です。当センターでも今年から活動を開始する予定です。

認知症になっても、幸せに暮らせる社会を目指して、センタースタッフ一同頑張っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



知仁会全景



広島県西部認知症疾患医療センターのスタッフ（前列中央が筆者）



広島県老人保健施設協議会の活動

広島県老人保健施設協議会の活動

介護の日フェスタin広島 平成26年11月9日(日)

広島県老人保健施設協議会 副会長・事務部会長 河野 英樹 (ピレネ)

開催日時	平成26年11月9日(日) 10:30～16:00
開催場所	1. 広島県庁正面第1駐車場 広島市中区基町10-52 2. シャレオ中央広場 広島市中区基町地下街100号



広島県のゆるきゃら、左から「ゆっぴー」「イクちゃん」「ブンカッキー」が揃って挨拶!(県庁広場)

県庁広場内において魅力発信ゾーン33番ブースで「認知症予防の紹介」をテーマに協賛出展いたしました。数あるブースの中でも行き交う人と笑顔でふれあう、ハートフルな印象を受けました。関係者の皆さん本当にお疲れ様でした。

少子高齢社会が進む中、広島県民一体となって介護を考える有意義なフェスタです。会員の皆様には是非1度足を運んでみてくださるようお願い申し上げます。



今年で3回目の開催を迎えた恒例のフェスタ、あいにく雨模様の中での開催の運びとなりましたが、会場は多くの参加者や各イベントへの人出で賑やかな1日となりました。改めて本フェスタの趣旨をご説明申し上げます。

「11月(いい月)11日(いい日)は介護の日」は、介護についての理解を深め、福祉・介護職が魅力ある職業として選ばれることを目的として厚生労働省が定めた日です。本フェスタは、「介護の日」を多くの県民の皆様を知っていただき、施設・事業所や職能団体、養成校の連携のもと、介護を必要とする人や介護職の本音や生の声を伝え、いろいろな年代の人が福祉・介護職を職業の選択肢のひとつとして考えるきっかけづくりを目的に開催しています。

このフェスタの主催団体の一つでもある広島県老人保健施設協議会は、一人でも多くの県民の皆様には老人保健施設の知名度を高めようと昨年に引き続き



広島県老人保健施設協議会ブース



ケアマネマイスター広島認定式

介護支援専門員（ケアマネージャー）が誕生し14年が経過し、たくさんの介護支援専門員が活躍されています。その中で介護利用者や関係者の方々が「こんな介護支援専門員がいてくれたら・・・」と思える介護支援専門員を現場の実務に携わる介護支援専門員の中から募集し、そのような「望ましい介護支援専門員像」にふさわしい方を認定するものです。今年も新たに7名の方が認定されました。今後の介護支援専門員の質向上や教育において、多くの場で活躍して頂けることを期待しています。



広島県老人保健施設協議会ブース／テーマ「脳トレで認知症予防。」

<< メニュー >>

脳トレのゲーム、パズルetc.

積み木テスト（手本と同じ絵柄を作ります。どこまで複雑な絵柄が作れるかな・・・）

<< 来場者の反応 >>

年配の方は、張り切ってトライする人、もし認知症だったらと敬遠する人、さまざま。最も興味を示したのは子どもさんたち。手を引かれて来てハマりこむ母さんも。



広島県老人保健施設協議会の活動

広島市大雨土砂災害被災地支援の実際

～広島県災害時公衆衛生リハビリテーションチームの活動報告～

公立みつぎ総合病院介護老人保健施設「みつぎの苑」 リハビリ部次長 近藤 健二

1. はじめに

平成26年8月20日早朝、広島市において豪雨による土石流災害が発生した。多くの住民が犠牲となり、家は倒壊し、土砂が堆積する状況となった。避難者も多く、各地区の集会所や学校などへ避難し不安な生活を余儀なくされていた。東日本大震災の教訓より、避難生活時の生活不活発病（廃用症候群・エコノミークラス症候群）が懸念され、生活リハビリテーション（以下、リハビリ）の必要性が重要となっていた。広島県地域保健医療推進機構〔広島県災害時公衆衛生チーム（リハビリ部門）〕は、広島県老人保健施設協議会、広島県地域リハビリテーション広域支援センター・協力病院などと連携して、平成26年8月23日～10月5日の44日間、各避難所で避難者の支援活動を実施した。

2. リハビリ支援の実際

①準備期（平成26年8月23日～26日）

8月23日（発災後3日目）、6名の療法士と2名の保健師が広島県庁に集合し、県から避難所の状況報告を受け、避難所の一つである佐東公民館の調査・視察を行った（写真1）。避難所では床に段ボールマットや毛布を敷き、そこで避難者は寝起きされていた。また、ホールの椅子に座ったまま寝ている方も見られた（写真2）。生活環境は劣悪であり避難者の意欲も低下していた。避難者の気持ちは、不明者の心配や自宅の復旧についての事が中心で、自分自身の体調や生活不活発病の予防などへは気が向いていないという状況が見られた。日中は自宅の土砂撤去のため帰宅されている方が多く、昼間と夜間の避難者数に大きな差があった。障がい者や高齢者は少ない状態（中・重度の被介護者は市内の病院や施設に入院・入所など）であったが、今後は生活不活発病の予防・改善や精神面へのアプローチが必要となるだろうと推測できた。また、支援をスムーズに受け入れてもらうための下準備として、避難者との顔の見える関係作りや他職スタッフとの連携のため早期からの活動も必要と思われた。24日～26日は他の避難所の視察と避難者個々への支援を行いながら、支援本隊導入に向けて活動方法・留意点・記録方法などの準備を行った。

②支援初期（第1班～第3班：8月27日～9月7日）

8月27日より第1班として6か所の避難所（緑井小学校、佐東公民館、梅林小学校、八木小学校、可部小学校、三入東小学校）で支援開始する（図1）。9時に緑井小学校へ集合し、初回ミーティングを実施する。前日の夜遅く招集がかかり、状況把握や準備ができていないスタッフが殆どであり、活動目的・避難所でいうこと・留意点・活動例などを伝達する（写真3）。第1班は各避難所に療法士を2名ずつ配置し、リーダーを含め計13名体制とした。期間は4日間（第2班以降は5日間）とし、次班への情報伝達のため1日重複するようにした。

避難所では障がい者や活動性が低下している人に対して、生活不活発病予防・改善の観点からリハビリ専門職としての支援を行った。内容は、避難者の状況に合わせ、個別指導、集団的な関わり（体操や屋外歩行など）、相談、環境整備、ボランティアへの指導などである（写真4・5・6）。また、行政支援スタッフへ介護予防の視点を持つための啓発活動も行った。

各避難所においては、担当療法士が主動してリハビリ相談ができる場所を設置し、そこを拠点として各支援を行っていった（写真7）。当初は避難者へ声かけしても「必要ない」との返事が多く拒否的でさえあったが、徐々にコミュニケーションが取れてくると、痛みの訴えや相談など多く見られるようになってきた。また、避難所においてリハビリ職種の認知度が低いため、青いビブスを着用し声をかけやすいような対策をとった。県・市の保健師だけでなく、派遣されている医師、看護師、薬剤師などともミーティングを行い情報共有に努めていった（写真8）。

各避難所での支援終了後、毎日18時に県庁へ支援療法士が集合し、各避難所の状況報告と今後の対応を話

し合った。避難者数と被支援者の状況、支援物資の状態、生活環境、リハビリ状況などの議題が上がり、毎回長時間の会議となった。これは療法士間の情報共有の場となり、各避難所の差のある環境改善と支援療法士の被支援者への対応向上につながった（写真9）。

③支援中期（第4班～第8班：9月7日～9月27日）

小学校の避難所では、9月からの新学期に合わせ避難生活場所を教室から体育館中心としており、体育館での生活が困難な方への対策として、旧共立病院を9月7日より避難所として開所した。避難所を変わってくる方も多く、リハビリ支援も同時に開始した。

初期からの個別対応や集団体操により、活動量や体力が改善し、生活不活発病の心配は徐々に少なくなっていた（写真10）。しかし、他者との交流は少なく、個々で孤立している状況も多く見られていた。そこで「集まる場」を作り、作品（折り紙など）を一緒に作ることで避難者間のコミュニケーションを作っていた（写真11）。旧共立病院でも同様の目的で台所作業（味噌汁作りなど）を行った（写真12）。これらの効果は良好で、久しぶりに笑った・楽しかったと話される方もあった。避難所生活という非日常な時に、日常的な事柄を取り入れることで、生活が少しずつ動きだしたと思われる。生活リハビリの有効性を感じる時であった。

この時期になると、徐々に自宅へ帰る人やアパートなどで新しい環境で生活を始める人など避難所の生活者は徐々に減少して行った。支援療法士は、包括的に被災者を支援していくために避難所退所後の環境確認を行い、必要に応じて調整し、安定した生活動作ができるよう退所先の訪問を希望したが、今回の支援では避難所を中心とした支援までしか許可されておらず、地区の保健師や地域包括支援センターへ継続支援をお願いすることとなった。機能状態を知っている療法士による訪問支援ができることで更に効果があっただろうと思われる。

9月9日に三入東小学校避難所閉鎖、13日可部小学校避難所閉鎖となる。支援療法士も各避難所の状況に応じて人数調整しており、第4班（9月7日～11日）で9人体制となり、更に徐々に減員し、第8班（9月23日～27日）では4人体制となっていった。

④支援後期（第9班～第10班：9月27日～10月5日）

各小学校避難所は日中の避難者は無く（写真13）、夜間のみ又は降雨時のみの利用となっていた。第9・10班は共に支援療法士は2人体制となり、支援場所は旧共立病院を中心に佐東公民館等を巡回する形となっていた。支援が必要な避難者も減少し、10人未満となっていた。その方々も自分の生活パターンを再建され、今後の方針も決まり（帰宅・転居先確保・介護保険利用開始など）方向性も確認できた。関わった避難者からは、リハビリ支援の延長をお願いされたが、リハビリ専門職としての関わりはほぼ無くなり（ボランティア・地区保健師で対応可能）、各避難者の自立を促すためあえて終了することも必要であることなどを理解していただいた。今回の支援の目的であった生活不活発病の改善に対しては達成できたと考え、広島県と協議し10月5日をもって支援終了となった（写真14）。終了にあわせて、市保健師へ被支援者個々の今後の方針と対応など最終報告を行った。

3. 療法士活動結果

平成26年8月23日より10月5日までの44日間、広島県災害時公衆衛生リハビリチームとして広島県老人保健施設協議会や広島県地域リハビリテーション広域支援センター・協力病院など多くの施設と病院より療法士の派遣があり、広島市土砂災害被災地支援を行った。療法士の派遣支援を行った老人保健施設は15施設であった（表1）。老人保健施設からの派遣者数は延べ222人（実人数39人）であり、病院等からの派遣を含めた合計の派遣者数は延べ372人（実人数81人）であった。また、避難所で個別・集団リハビリを実施し支援を行った延べ対象者は1,063人に上った（表2）。

今回の支援活動では、1つの班の活動を5日間とし、同じ療法士が継続して支援できるように可能な限りお願いした。これは避難者支援において重要なコミュニケーションの確保に効果的であり、毎日担当者を変えての支援であったならここまでの関わりは出来なかったと思われる。療法士自身も避難者だけでなく行政・住民とのコミュニケーション、連携や生活リハビリの大切さを深く認識できる機会となっていた。

また、9月15日に県庁で開催された「個別訪問により支援を行う保健師研修会」へ発表者として参加した。避難所から帰宅・転居された被災者のケア等を訪問調査し、生活不活発病にならないように確認と状況に合った支援が必要である。被災高齢者の生活・予防リハビリについて、広島県公衆衛生リハビリチームの活動



広島県老人保健施設協議会の活動

と今後の支援、地域包括ケアの重要性などを示した。これらのことは地域包括ケアシステムの考え方であり、行政・専門職・住民が連携を取って支援する「面の連携」といえる。

4. まとめ

今回、広島市豪雨による土石流災害に対する支援を広島県公衆衛生リハビリチームとして実施することができた。災害発生当初、生活に対する悲壮感がある中で、避難者個々が運動や生活をマネジメントしていくことは困難であり、何かしらの刺激付けや誘導が必要であった。早期からの療法士による連続した生活リハビリの実施により、避難者の生活不活発病を予防・改善でき、生活再建へ向けての目標を示し達成することができた。

療法士をはじめ多くの職種と連携を取って被災者へ対しての支援ができ、行政、専門職、住民との連携（面の連携）を実践する場となった。特に老人保健施設からのリハビリ支援は、施設の特性上、高齢者の生活動作の評価や地域との連携を日ごろから行っており有効であったと思われる。

課題としては、今回は避難所を中心とした支援までしか許可されていなかった。帰宅・転居者に対するの訪問支援が可能であれば更に効果が見られたと考える。

平成26年10月5日をもって、広島県公衆衛生リハビリチームの支援は終了した。しかし、災害復旧は完了したわけではなく、住居や生活など含めこれからも問題は山積みである。私たちはこれらを常に注視し、状況に応じた支援を継続していくことが必要と思われる。身体・精神的にも、社会的にも、一日でも早い復興をお祈りしたいと思う。

療法士の活動状況（H26.8.23～10.5）

支援スタッフの関わり

	老健から派遣		病院等から派遣		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
理学療法士	21	133	29	98	50	231
作業療法士	18	89	10	44	28	133
保健師	0	0	3	8	3	8
合計	39	222	42	150	81	372

リハビリテーションの内容

種別	延べ対象者数（人）
個別リハビリテーション	660
集団リハビリテーション	403
合計	1,063

療法士の派遣支援を行った老人保健施設

	施設名
1	みつぎの苑
2	せのがわ
3	さんさん高陽花の丘
4	サンスクエア沼南
5	愛生苑
6	ひうな荘
7	ピレネ
8	白木の郷
9	かなえ
10	ビーブルかなべ
11	ゆうゆうの園
12	ビーブル神石三和
13	あすらや荘
14	しんあい

療法士が支援した避難所



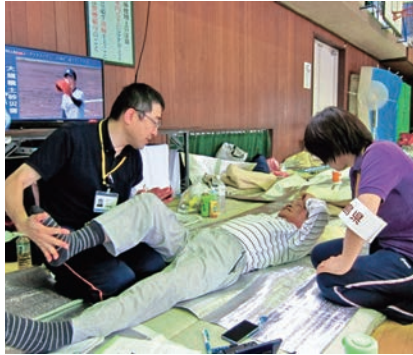
佐東公民館の調査・視察（玄関前）



避難者は床に毛布などを敷き寝起きされていた



小雨の中、避難所の軒下で
初回ミーティング実施



生活不活発病予防のためのストレッチや
筋トレを実施（個別リハビリ）



起居動作など基本動作の確認
（個別リハビリ）



体操の実施（集団リハビリ）



各避難所にリハビリ相談が
できる場所を設置した



各避難所で他職種と連携を
取っていった



毎日、全療法士が集合し
ミーティング実施



リハビリ支援により、生活不活発病は
徐々に改善（屋外歩行練習）



個の世界だった避難者の
表情にも変化が現れてきた



生活動作である台所仕事を
行った（旧共立病院）



各小学校の日中の避難者は
無くなった

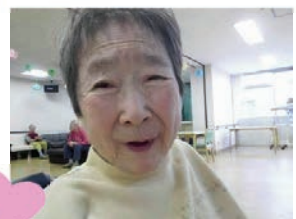


支援終了時の挨拶
（10月5日）



ちょっと聞いてよ！施設自慢

ゆうゆうの園の
自慢は 皆さんの
笑顔です！



カープの応援も盛り上がりました！





皆さんの
笑顔
本当に素敵

ご利用者の素敵な笑顔が見られる様、ゆうゆうの園職員一同 力を合わせてがんばっています
 ご利用者様のご様子を毎月の広報誌「ゆうゆう便り」、園内広報「ゆうゆう新聞」を発行し、ご利用者様、ご家族や来園者方、地域の施設にも見て頂き、好評です！
 皆さんの素敵な笑顔をご覧くださいませ！





ちょっと聞いてよ！施設自慢

介護老人保健施設 ひまわり

老健ひまわりは廿日市市にあり、世界遺産「厳島神社」の対岸に位置しています。平成7年9月に開設し、地域の方の在宅生活を長年支援させていただいております。

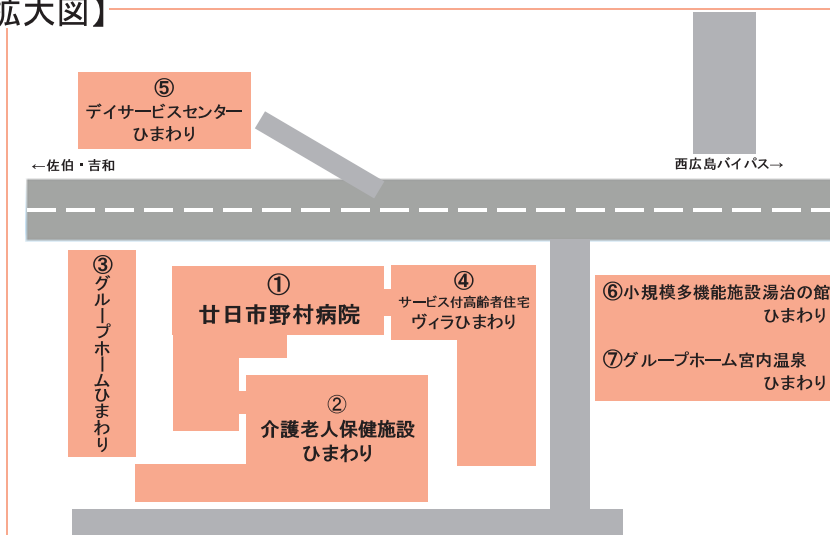
医療法人みやうちが母体であり「地域に根ざしたサービス提供」を理念とし、様々なニーズに対応できるように、老健以外にもデイサービス、ケアプランオフィス、ケアショップ（福祉用具貸与・販売事業所）、グループホーム、小規模多機能施設、サービス付高齢者住宅があります。

～医療面でも安心な立地条件～

当施設は廿日市野村病院が隣接されています。施設長は精神科医、さらに内科担当の医師もいるので安心して療養していただけます。また入院加療が必要な場合でも迅速に入院可能です。本来、老健は在宅復帰を目指す施設ですが、現実的にはなかなか復帰は困難です。当老健は併設の病院で対応が可能な疾患は入院にて加療し、退院後は再び老健に入所、また次の療養場所（主として特養）が決まるまでは特に期限を設けずに療養していただいております。



【拡大図】



～デイケアでの取り組み～

現在特に力を入れている点は『ご利用者様の個性を生かす』ということです。ご利用者様の趣味や特技をいかし、楽しみにつながるよう配慮しています。また毎朝全員で行うラジオ体操、発声練習、腹式呼吸、リズムウォーキング、脳トレ等身体の全てをまんべんなく使い、心身機能が活性化できるプログラムを提供しています。終了時に『やっぱり来て良かった!』と思っていただけるようおもてなしの精神を常に持ち、ご利用者様をご支援させていただきます。



～『担当制で安心』リハビリの取り組み～

当施設ではリハビリスタッフが現在6名在籍しており、長期入所、デイケア、ショートステイ全て毎回同じリハビリスタッフが対応する「担当制」です。ニーズや身体状況に合わせてリハビリを実施させていただいております。デイケアをご利用いただいている方がショートステイをご利用いただいても同じスタッフですので、大変喜んでいただいております。またデイケアにおいてはご利用者様の生活に即したリハビリを提供する為に「積極的にご自宅に出向く」ということをモットーにしています。

～『食に楽しみを』栄養科の取り組み～

栄養科では食事を通して季節を感じていただけるよう行事食はもちろんのこと、お弁当献立にして気分をかえてみたり、手作りおやつで楽しんでいます。また外出のままならない方に旅行気分を味わってもらおうと各県の「駅弁」を提供しています。



～季節を感じる療養棟の取り組み～

施設の周りには桜をはじめ、色々な花が咲いています。さらに田んぼや畑もあり、季節を感じて頂いたり気分転換をして頂くためお散歩を行っています。



ちょっと聞いてよ！施設自慢

介護老人保健施設 しんあい

私たちの理念 限りない信頼と深い愛情

老人保健施設しんあいの特色

1. 目比野病院を併設しており、急変時には迅速に対応するなど医療的バックアップがあるため安心して療養していただけます。
2. 充実したリハビリスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）が個々に適した生活リハビリを行っています。
3. 在宅サービス部門のショートステイ、通所リハビリ、デイサービスとも・長楽、小規模多機能型居宅介護事業所を有し、医療介護センターとも連携し積極的に在宅支援を行っています。



1階 ホール



5階 屋上庭園



2階 通所リハビリ



2階 機能回復訓練室

充実したスタッフによるきめ細かな
リハビリ、看護、介護サービスを提供します。



3階 療養室(特別室)



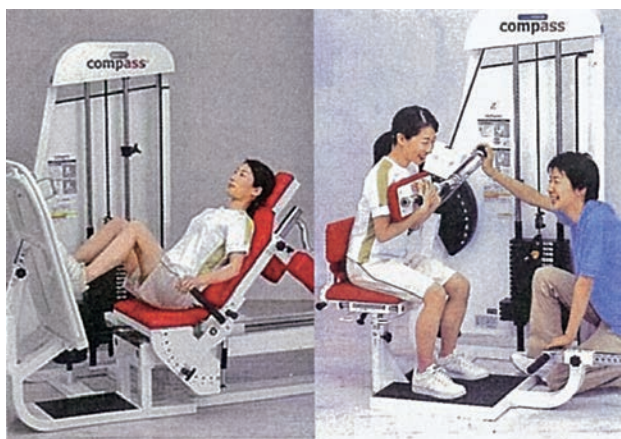
3階 療養室(個室)



3階 療養室(2人室)



4階 療養室(4人室)



パワーリハビリテーション



2階 一般浴室



ちょっと聞いてよ！施設自慢

介護老人保健施設 ほほえみ呉中央

「ほほえみ呉中央」は呉市の市街地にある老健施設です。呉市は海軍鎮守府や海軍工廠で栄え、現在では自衛隊や鉄鋼産業として受け継がれています。戦艦大和のふるさととして「大和ミュージアム」、また「アレイからすこじま」では、間近で潜水艦が見学できる観光名所もあります。

呉市も高齢化率が30%を越え、超高齢化社会となりつつあります。その中、医療法人ほほえみ会では、平成7年より「認知症になっても家で閉じこもりにならないよう外に出て行こう！介護する家族にも自由な時間が持て、笑顔で介護ができるように支援していこう！」と老人デイケアを中心にスタートしていきました。

老健ほほえみ呉中央は、平成13年4月に開設。デイケアを利用してもらっているご家族より、入所ができる施設のニーズが増え、開設にあたりました。当時は認知症があり、問題行動が多い高齢者でいっぱいといった感じはありました。しかし、今でも認知症の高齢者は多いですが、認知症への対応方法の変化やお薬の調整もあり、落ち着いて施設生活ができている高齢者の方が増えてきています。



老健ほほえみ呉中央
入所定員 88名
短期入所 空床利用
通りハ 短時間リハを提供

当施設では、リハビリテーションはもちろんですが、栄養改善も中心に高齢者の生活リズムを整え、生活動作が全てリハビリといった考えを持ち、可能な限り自立した生活が営めるように支援をしています。入所されている高齢者のほとんどは特養待ちの方が多く状態ですが、在宅復帰を目指す老健施設の目的はなかなか果たせていないものの、高齢者やそのご家族の今後の要望を受け止めながら、当施設を利用させていただくことにより、在宅での生活を考えられるようになったと言われることが一番です。次の施設に変わっても、よりよい生活ができるようになったと言われるように職員一同協力して介護に取り組んでいきたいと考えています。

当施設での通所リハビリテーションでは、短時間利用に特化したリハビリを提供しています。長時間の施設利用を行いたくない方や、初めての介護保険利用のため不安が強い方・集団利用を嫌う方など、リハビリを希望するがなかなか足が進まない方へ療法士の個別の対応を行うことにより、徐々に利用することに慣れ、さらに次の介護サービスへつながることになり、生活の質の向上につながっていると感じています。また、利用されている方からは「送迎もしてくれ、短時間のリハビリ利用ができるところがあってよかったわ」と笑顔や喜びの声がよく聞かれます。



療法士と一緒に作る作品

リハビリの専門職とは別に、鍼灸師とマッサージ師に勤務してもらい、医師との連携にて個別に施術を実施してもらっています。筋肉の緊張をほぐしてもらったり、拘縮予防に努めたり、浮腫への対応を行っています。しかし、入所されている高齢者からの一番の期待は、個別にゆっくりと話しができることと伺っています。



作品集



鍼灸師とマッサージ師による施術



地域のお祭りのやぶが慰問



介護キャリア段位制度について

キャリア段位制度を活用しましょう!

このことについては、昨年暮れにご案内させていただいた次第です。平成27年度介護報酬改定の内容を見ても、介護人材確保対策の推進として、地域包括ケアシステムの構築の更なる推進に向け、増大する介護ニーズへの対応や質の高い介護サービスを確保する観点から、介護職員の安定的な確保を図るとともに、更なる資質向上への取り組みを推進するとあります。来年度から改定される「サービス提供体制強化加算」も視野に入れて、優れた介護職員の育成に取り組んでいただければと思います。

キャリア段位制度とは？

「キャリア段位制度」は、成長分野における新しい職業能力を評価する仕組みであり、企業や事務所ごとにバラバラでない共通のものさしをつくり、これに基づいて人材育成を目指しています。

介護キャリア段位制度とは？

- ・介護キャリア段位制度とは、介護職員に対して知識と技能の両方を兼ね備えた能力を評価するものであり、ヘルパー2級や介護福祉士とはまた違う、介護のプロフェッショナルを認定しようという制度です。
- ・今までは何をもって介護のプロと呼ぶのか明確な指標が存在しませんでした。そこで新たに、あなたは介護のプロフェッショナルであることを認めましょうと制度化したのが介護キャリア段位制度の趣旨です。



キャリア制度の仕組みや、レベル認定の申請からの流れについて



ヘルパー2級や介護福祉士の「資格」と「段位」とはここが違う！学ぼうとしている姿、キャリア段位制度を知る



職員を評価するには、講習を受講したアセッサーが必要です





広島県老人保健施設協議会会員名簿一覧

(H27.1.31 現在)

1 広島県厚生農業協同組合連合会老人保健施設 のぞみ

〒731-0595 安芸高田市吉田町吉田 3767-1
TEL 0826-42-0636 FAX 0826-47-0010
●入所定員…60 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…石原 輝彦
●設置主体名…広島県厚生農業協同組合連合会 ●併設医療機関：吉田総合病院
●開設…S63-09-29

2 老人保健施設 里仁苑

〒723-0052 三原市皆実3丁目3-28
TEL 0848-62-4411 FAX 0848-62-0230
●入所定員…160 ●認知症…80 ●通所定員…36 ●会員氏名…藤原 久子
●設置主体名…医療法人 里仁会 ●併設：仁生病院、協力：興生総合病院、
支援センター、訪問看護センター併設 ●役員…理事 ●開設…S63-09-29

3 老人保健施設 さんさん高陽

〒739-1742 広島市安佐北区亀崎 4-7-1
TEL 082-845-1211 FAX 082-843-3333
●入所定員…126 ●認知症…0 ●通所定員…35 ●会員氏名…田尻 祐子
●設置主体名…医療法人社団 うすい会 ●併設医療機関：高陽ユウタウン病院、
支援センター、訪問看護センター併設 ●開設…S63-10-18

4 公立みつぎ総合病院介護老人保健施設 みつぎの苑

〒722-0353 尾道市御調町高尾 1348 番地 6
TEL 0848-76-0373 FAX 0848-76-3002
●入所定員…150 ●認知症…50 ●通所定員…40 ●会員氏名…山口 昇
●設置主体名…広島県尾道市 ●併設：リセッタ、支援センター 協力：公立みつ
ぎ総合病院（アソコ併設） ●役員…会長 ●開設…H01-03-01

5 介護老人保健施設 三恵苑

〒723-0014 三原市城町3丁目7番1号
TEL 0848-63-2388 FAX 0848-63-1715
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…松尾 恵輔
●設置主体名…医療法人 杏仁会 ●協力医療機関：松尾内科病院、支援センター
併設 ●開設…H01-05-24

6 介護老人保健施設 ゆうゆうの園

〒739-0024 東広島市西条町御園宇 703 番地
TEL 082-423-2727 FAX 082-424-3737
●入所定員…54 ●認知症…0 ●通所定員…8 ●会員氏名…大谷 達夫
●設置主体名…医療法人社団 二山会 ●宗近病院、支援センター、訪問看護セン
ター併設 ●役員…理事 ●開設…H01-06-27

7 老人保健施設 ハイトピア・カイセイ

〒721-0942 福山市引野町 5-9-21
TEL 084-945-1717 FAX 084-943-6929
●入所定員…71 ●認知症…0 ●通所定員…28 ●会員氏名…村上 仁
●設置主体名…医療法人 村上会 ●併設医療機関：福山回生病院、支援センター
併設 ●開設…H02-05-31

8 介護老人保健施設 ビレネ

〒728-0025 三次市栗屋町 1743-8
TEL 0824-62-8126 FAX 0824-64-7833
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…河野 英樹
●設置主体名…医療法人 新和会 ●併設医療機関：三次病院
●役員…理事 ●開設…H02-06-01

9 介護老人保健施設 サンビレッジ

〒721-0907 福山市春日町7丁目6番27号
TEL 084-941-5111 FAX 084-941-5144
●入所定員…95 ●認知症…36 ●通所定員…5 ●会員氏名…小林 芳治
●設置主体名…社会福祉法人 東光会 ●併設施設：特養東光園（支援センター
併設）、協力病院：小林病院 ●開設…H02-06-11

10 介護老人保健施設 静寿苑

〒739-0041 東広島市西条町大字寺家 800
TEL 082-422-9200 FAX 082-422-9255
●入所定員…150 ●認知症…70 ●通所定員…9 ●会員氏名…鎌田 達
●設置主体名…医療法人静寿会 ●エトワール西条病院併設 協力医療機関：
西条中央病院 ●開設…H02-08-06

11 竹原むつみ 老人保健施設

〒725-0012 竹原市下野町 650 番地
TEL 0846-22-7623 FAX 0846-22-6932
●入所定員…87 ●認知症…0 ●通所定員…10 ●会員氏名…西村 一彦
●設置主体名…医療法人 恵宣会 ●併設医療機関：竹原病院
●開設…H03-04-19

12 介護老人保健施設 リカバリーセンター章仁苑

〒729-6201 三次市和知町字歳政 1800 番地の 21
TEL 0824-66-2755 FAX 0824-66-1184
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…佐竹 辰男
●設置主体名…社会福祉法人 章仁会 ●協力：三次地区医療センター、公立三
次中央病院 ●開設…H03-05-14

13 老人保健施設 仁和の里

〒729-1321 三原市大和町和木 1505 番地
TEL 0847-34-1216 FAX 0847-34-1219
●入所定員…90 ●認知症…0 ●通所定員…10 ●会員氏名…藤原 恒弘
●設置主体名…医療法人 里仁会 ●白龍湖病院併設 協力病院：興生総合
病院、支援センター、訪問看護センター併設 ●開設…H03-07-22

14 介護老人保健施設 あけぼの

〒731-1515 山県郡北広島町壬生 915-4
TEL 0826-72-2500 FAX 0826-72-8078
●入所定員…93 ●認知症…0 ●通所定員…60 ●会員氏名…益田 正美
●設置主体名…医療法人 明和会 ●併設医療機関：益田病院、支援センター、
訪問看護センター併設 ●開設…H04-02-01

15 介護老人保健施設 花の丘

〒731-5143 広島市佐伯区三宅 6 丁目 265 番地
TEL 082-924-1187 FAX 082-921-9111
●入所定員…96 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…林 篤彦
●設置主体名…医療法人社団 朋和会 ●併設医療機関：西広島リハビリシ
ョン病院 ●開設…H04-02-15

16 介護老人保健施設 葵の園・セラ

〒722-1112 世羅郡世羅町大字本郷 1216 番地
TEL 0847-22-5000 FAX 0847-22-3305
●入所定員…142 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…新谷 幸義
●設置主体名…医療法人社団 葵会 ●協力病院：世羅中央病院
●開設…H04-04-01

17 介護老人保健施設 洋光台バラ苑

〒734-0055 広島市南区内洋新町 1-17-17
TEL 082-287-7777 FAX 082-287-7778
●入所定員…96 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…松石 頼明
●設置主体名…医療法人 恒和会 ●洋光台クリニック併設 協力医療機関：
松石病院 ●開設…H04-04-01

18 介護老人保健施設 ビーブル春秋苑

〒721-0965 福山市王子町1丁目4番5号
TEL 084-928-5800 FAX 084-928-7550
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…藤井 功
●設置主体名…医療法人 紅萌会 ●併設医療機関：福山記念病院
●役員…理事 ●開設…H04-10-05

19 介護老人保健施設 サンスクエア沼南

〒720-0832 福山市水呑町字大谷 3332-1
TEL 084-956-1177 FAX 084-956-3700
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…安原 耕一郎
●設置主体名…医療法人 常仁会 ●協力医療機関：沼南病院、支援センター併
設 ●役員…理事 ●開設…H05-04-12

20 介護老人保健施設 まいえ

〒731-5142 広島市佐伯区坪井 3 丁目 818-1
TEL 082-921-9123 FAX 082-924-4569
●入所定員…96 ●認知症…0 ●通所定員…0 ●会員氏名…中村 英雄
●設置主体名…医療法人 P I A ●併設医療機関：カミ病院
●開設…H05-06-15

21 老人保健施設 桃源の郷

〒729-2361 三原市小泉町 4258
TEL 0848-66-3877 FAX 0848-66-3610
●入所定員…58 ●認知症…0 ●通所定員…35 ●会員氏名…谷本 雄謙
●設置主体名…医療法人 仁康会 ●小泉病院、支援センター併設 協力施設：
本郷中央病院 ●開設…H06-04-01

22 老人保健施設 かなえ

〒720-0542 福山市金江町葦江 550-1
TEL 084-935-8135 FAX 084-935-8136
●入所定員…90 ●認知症…40 ●通所定員…35 ●会員氏名…小山 峰志
●設置主体名…医療法人 永和会 ●併設医療機関：下永病院、支援センター併
設 ●役員…監事 ●開設…H06-06-06

23 介護老人保健施設 くぼ

〒722-0045 尾道市久保 2 丁目 24-17
TEL 0848-37-3102 FAX 0848-37-7858
●入所定員…22 ●認知症…0 ●通所定員…10 ●会員氏名…高亀 克典
●設置主体名…医療法人 樹良会 ●併設医療機関：高亀医院
●開設…H06-06-27

24 老人保健施設 ひうな荘

〒734-0031 広島市南区内宇那那町 30-1
TEL 082-256-1001 FAX 082-256-1008
●入所定員…150 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…酒井 亮介
●設置主体名…社会福祉法人 三篠会 ●併設施設：特養ひうな荘、協力病院：
済生会広島病院 ●役員…副会長 ●開設…H05-11-10

25 介護老人保健施設 シルバーケア ヨシハラ

〒722-0062 尾道市向東町 8883-5
TEL 0848-44-4800 FAX 0848-44-8401
●入所定員…80 ●認知症…30 ●通所定員…50 ●会員氏名…吉原 久司
●設置主体名…医療法人 吉原胃腸科外科 ●併設医療機関：吉原胃腸科外科
●開設…H07-06-12

26 老人保健施設 コスモス園

〒737-0911 呉市焼山北 3-171-4
TEL 0823-34-4000 FAX 0823-34-4003
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…登 道夫
●設置主体名…社会福祉法人 白寿会 ●特養コスモス園、支援センター併設、協力
病院：呉市医師会病院 ●開設…H07-07-01



広島県老人保健施設協議会会員名簿一覧

(H27.1.31 現在)

27 介護老人保健施設 ひまわり

〒738-0034 廿日市市宮内宇佐原田 4211-4
TEL 0829-38-3111 FAX 0829-38-3118
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…45 ●会員氏名…野村 昭太郎
●設置主体名…医療法人 みやうち ●廿日市野村病院、支援センター、アソシエイト併設
協力機関：厚生連広島総合病院、渡辺歯科 ●開設…H07-09-01

28 介護老人保健施設 ナーシングホーム沙羅

〒728-0001 三次市山家町 605-20
TEL 0824-62-8800 FAX 0824-62-7600
●入所定員…80 ●認知症…30 ●通所定員…35 ●会員氏名…西村 茂樹
●設置主体名…医療法人 微風会 ●特養ビル「園」併設（支援センター、ケア）併設、
協力病院：ピーチの里病院、公立三次中央病院 ●開設…H07-09-01

29 介護老人保健施設 ゆうゆ

〒739-0651 大竹市玖波 5丁目2番2号
TEL 0827-57-8377 FAX 0827-57-8605
●入所定員…96 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…石井 知行
●設置主体名…医療法人社団 知仁会 ●併設医療機関：メーブルヒル病院
●開設…H07-09-11

30 介護老人保健施設 ゆめの杜

〒720-0013 福山市千田町大字千田字蔵王原 2591-1
TEL 084-955-0080 FAX 084-955-8722
●入所定員…90 ●認知症…0 ●通所定員…10 ●会員氏名…金 良一
●設置主体名…医療法人 紅十字会 ●協力病院：医療法人紅十字会総合病院三愛、支援センター併設 ●開設…H07-12-12

31 介護老人保健施設 みゆき

〒725-0231 豊田郡大崎上島町東野 2701 番地
TEL 0846-65-3980 FAX 0846-65-3972
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…大和田 秀穂
●設置主体名…医療法人社団 ひがしの会 ●支援センター、アソシエイト併設 協力的
ときや内科病院、県立安芸津病院、山本歯科 ●設置主体名…H08-04-01

32 介護老人保健施設 五日市幸楽苑

〒731-5152 広島市佐伯区五日市町下河内 188-6
TEL 082-927-2511 FAX 082-927-2225
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…茗荷 浩志
●設置主体名…医療法人 和同会 ●併設医療機関：広島グリーン山病院、支援
センター併設 ●開設…H08-04-01

33 老人保健施設 かがやき荘

〒729-3421 府中市上下町深江 488-1
TEL 0847-62-4313 FAX 0847-62-4817
●入所定員…65 ●認知症…0 ●通所定員…15 ●会員氏名…山岡 淳朗
●設置主体名…社会福祉法人 翁仁会 ●支援センター併設予定、協力医療機関：
国保上下病院、国立上下湯ヶ丘病院 ●開設…H08-04-10

34 介護老人保健施設 ベルローゼ

〒731-0154 広島市安佐南区上安 6丁目31番1号
TEL 082-830-3333 FAX 082-830-3380
●入所定員…90 ●認知症…40 ●通所定員…120 ●会員氏名…永見 憲吾
●設置主体名…社会福祉法人 IGL 学園福祉会 ●ケア合築、協力病院：
広島共立病院 ●開設…H08-04-19

35 老人保健施設 ひこばえ

〒731-3501 山県郡安芸太田町大字加計 683-1
TEL 0826-25-0123 FAX 0826-25-0124
●入所定員…60 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…落合 洋
●設置主体名…医療法人社団 やまを会 ●協力医療機関：加計町国保病院
関連病院：落合整形外科内科 ●開設…H08-05-02

36 介護老人保健施設 愛生苑

〒727-0022 庄原市上原町字高丸 1810-1
TEL 0824-72-8686 FAX 0824-72-8685
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…戸谷 完二
●設置主体名…医療法人社団 聖仁会 ●協力医療機関：庄原赤十字病院、
戸谷医院 ●役員…監事 ●開設…H08-05-08

37 老人保健施設 ゆさか

〒725-0002 竹原市西野町横ヶ坪 184
TEL 0846-29-2190 FAX 0846-29-2510
●入所定員…88 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…山下 由喜子
●設置主体名…医療法人社団 仁寿会 ●連絡先：山下産婦人科内科医院
●開設…H08-6-13

38 老人保健施設 りは・くにくさ

〒731-4231 広島市安芸区阿戸町 485-1
TEL 082-856-0600 FAX 082-856-0633
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…横山 吉宏
●設置主体名…社会福祉法人 あと会 ●併設機関：特養にくにくさ苑、診療
所合築（別法人） ●開設…H08-07-01

39 介護老人保健施設 あすなろ

〒737-2132 江田島市江田島町江南 1丁目24番地12号
TEL 0823-42-1122 FAX 0823-42-1766
●入所定員…80 ●認知症…40 ●通所定員…40 ●会員氏名…青木 博美
●設置主体名…医療法人社団 仁風会 ●協力医療機関：青木病院
●開設…H08-08-01

40 老人保健施設 成寿園

〒737-0143 呉市広町白石免田 13012
TEL 0823-71-7171 FAX 0823-72-3400
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…新田 秀樹
●設置主体名…社会福祉法人 成寿会 ●併設機関：特養成寿苑、ケア成寿
園、協力病院：中国労災病院 ●開設…H08-10-10

41 老人保健施設 希望の園

〒731-0101 広島市安佐南区八木 5丁目16-2
TEL 082-873-5881 FAX 082-873-5887
●入所定員…87 ●認知症…0 ●通所定員…25 ●会員氏名…松山 俊夫
●設置主体名…医療法人社団 恵愛会 ●関連病院：安佐病院、協力医療機関：
広島共立病院 ●開設…H08-11-11

42 介護老人保健施設 グリーンハウス宏喜苑

〒720-0077 福山市南本庄 3丁目8-17
TEL 084-920-8111 FAX 084-920-8178
●入所定員…90 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…日地 康武
●設置主体名…医療法人社団 宏仁会 ●併設：寺岡整形外科病院、協力的
国立福山病院、支援センター併設 ●開設…H08-11-18

43 老人保健施設 めまぐま

〒720-0402 福山市沼隈町大字中山南 469-3
TEL 084-988-1165 FAX 084-988-1119
●入所定員…60 ●認知症…0 ●通所定員…80 ●会員氏名…松谷 鞠子
●設置主体名…医療法人社団 沼南会 ●併設医療機関：沼隈病院、協力歯科：
黒瀬アソシエイト、関連：常石医院 ●開設…H08-12-01

44 介護老人保健施設 シェスタ

〒738-0054 廿日市市阿品 4丁目51-1
TEL 0829-36-2080 FAX 0829-36-2259
●入所定員…100 ●認知症…39 ●通所定員…40 ●会員氏名…土谷 晋一郎
●設置主体名…医療法人 あかね会 ●併設医療機関：阿品土谷病院、協力
医療機関：土谷病院、とだ歯科医院 ●開設…H09-03-31

45 老人保健施設 パナケイア

〒737-0143 呉市広白石 4丁目7-22
TEL 0823-70-0556 FAX 0823-70-0557
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…小浦 義彦
●設置主体名…医療法人社団 和恒会 ●併設医療機関：ふたば病院 協力
医療機関：中国労災病院 ●開設…H09-04-01

46 介護老人保健施設 あすらや荘

〒737-0161 呉市郷原町 2380
TEL 0823-77-0949 FAX 0823-77-1207
●入所定員…80 ●認知症…40 ●通所定員…10 ●会員氏名…酒井 亮介
●設置主体名…社会福祉法人 三篠会 ●併設施設：特養ホームあすらや荘、協
力医療機関：中国労災病院、かとう歯科クリニック ●開設…H09-04-01

47 老人保健施設 せのがわ

〒739-0321 広島市安芸区中野 6丁目8-2
TEL 082-820-2100 FAX 082-820-2101
●入所定員…84 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…畑野 栄治
●設置主体名…医療法人社団 長寿会 ●はたのりけり整形外科医院併設 協
力病院：ツグ病院、瀬野白川病院 訪問看護ステーション瀬野川、在宅介護実習普
及センター併設 協力歯科：阿部歯科医院 ●役員…副会長
●開設…H09-04-07

48 介護老人保健施設 やすらぎの家

〒722-0042 尾道市久保町 1718
TEL 0848-20-7150 FAX 0848-20-7152
●入所定員…80 ●認知症…30 ●通所定員…30 ●会員氏名…漆原 治夫
●設置主体名…(社)尾道市医師会 ●尾道市久保町福祉村内、支援センター、訪
問看護ステーション併設 協力病院：尾道市民病院 ●開設…H09-04-30

49 介護老人保健施設 ふぁみりい

〒720-2104 福山市神辺町道上字中ノ町 2977-1
TEL 084-960-0300 FAX 084-960-0301
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…60 ●会員氏名…石田 浩
●設置主体名…医療法人社団 緑陽会 ●協力医療機関：神辺町国保病院・
亀川病院、在宅介護支援センターケア神辺 ●開設…H09-05-01

50 介護老人保健施設 ビーブル神石三和

〒720-1522 神石郡神石高原町小島 1500-1
TEL 08478-9-3030 FAX 08478-9-3031
●入所定員…77 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…藤井 功
●設置主体名…医療法人 紅明会 協力医療機関：県立神石郡三和病院、関連：
福山記念病院 ●開設…H09-05-01

51 介護老人保健施設 熊野ゆうあいホーム

〒731-4221 安芸郡熊野町字地蔵ノ前 1610-3
TEL 082-820-5131 FAX 082-820-5133
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…80 ●会員氏名…古川 義紀
●設置主体名…医療法人社団 古川医院 ●協力医療機関：社会福祉法人恩
賜財団済生会広島病院 ●開設…H09-09-25

52 老人保健施設 しんあい

〒731-3161 広島市安佐南区沼田町伴 7941-1
TEL 082-848-8888 FAX 082-848-8885
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…85 ●会員氏名…日比野 誠一郎
●設置主体名…医療法人 信愛会 ●日比野病院 訪問看護ステーション併設
●開設…H09-11-28

53 老人保健施設 あきまる園

〒739-2403 東広島市安芸津町風早 497-41
TEL 0846-45-6100 FAX 0846-45-6101
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…60 ●会員氏名…登 道夫
●設置主体名…社会福祉法人 白寿会 ●特別養護老人ホームあきまる園
●開設…H09-12-02

54 介護老人保健施設 スカイバード

〒732-0036 広島市東区福田町 3198
TEL 082-899-7778 FAX 082-899-7770
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…柿木田 勇
●設置主体名…社会福祉法人 広島常光福祉会 ●特別養護老人ホームふくだの里
●開設…H10-01-30

55 老人保健施設 とやま

〒731-3272 広島市安佐南区沼田町吉山 980-1
TEL 082-839-3939 FAX 082-839-3940
●入所定員…80 ●認知症…40 ●通所定員…39 ●会員氏名…吉崎 英一郎
●設置主体名…医療法人社団 聖愛会 ●協力医療機関：広島共立病院
●開設…H10-03-05

56 老人保健施設 西広島幸楽苑

〒733-0851 広島市西区田方 2丁目 16-45
TEL 082-274-1311 FAX 082-274-1322
●入所定員…130 ●認知症…30 ●通所定員…80 ●会員氏名…占部 武
●設置主体名…医療法人 和同会 ●併設：広島 〃 九〇九病院
●開設…H10-03-27

57 老人保健施設 チェリーゴード

〒735-0014 安芸郡府中町柳ヶ丘 20-18
TEL 082-508-0223 FAX 082-282-2319
●入所定員…68 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…石田 晃司
●設置主体名…社会福祉法人 F I G福祉会 ●特別養護老人ホーム「F I G」併設、ウアツリゴード、養護老人ホーム「F I G」併設
●開設…H10-04-01

58 老人保健施設 ジョイトピアしんいち

〒729-3105 福山市新市町下安井 3510
TEL 0847-51-2226 FAX 0847-51-2216
●入所定員…65 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…寺岡 暉
●設置主体名…社会福祉法人 新市福祉会 ●特養ホーム：「ジョイトピア」おおよ併設、協力医療機関：寺岡記念病院 ●開設…H10-08-01

59 老人保健施設 平和の里

〒730-0812 広島市中区加古町 6-1
TEL 082-248-8828 FAX 082-248-8803
●入所定員…95 ●認知症…15 ●通所定員…20 ●会員氏名…林 香津子
●設置主体名…医療法人社団 桃李会 ●平和診療所併設、協力医療機関：林病院 ●開設…H10-10-01

60 介護老人保健施設 はまな荘

〒731-4311 安芸郡坂町字北新地 2丁目 3-10
TEL 082-820-1877 FAX 082-820-1878
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…山田 勝士
●設置主体名…社会福祉法人 恩賜財団済生会支部広島県済生会 ●済生会広島病院、特養ホーム「たかな荘」 ●開設…H11-04-01

61 三次地区医師会介護老人保健施設 あさぎり

〒728-0025 三次市栗屋町柳田 1649-1
TEL 0824-62-6611 FAX 0824-62-6617
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…50 ●会員氏名…星田 昌吾
●設置主体名…社団法人 三次地区医師会 ●協力医療機関：三次地区医療センター ●開設…H11-04-01

62 介護老人保健施設 精彩園

〒722-0215 尾道市美ノ郷町三成 339-3
TEL 0848-48-5511 FAX 0848-48-5582
●入所定員…60 ●認知症…0 ●通所定員…59 ●会員氏名…土橋 敬弘
●設置主体名…医療法人社団 精彩会 ●協力医療機関：尾道総合病院
●開設…H12-04-01

63 老人保健施設 べにまんさくの里

〒739-0478 廿日市市大野町 1320
TEL 0829-50-0031 FAX 0829-50-0037
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…60 ●会員氏名…丸山 つね子
●設置主体名…医療法人社団光仁会 ●大野光仁クリニック併設
●開設…H13-02-01

64 介護老人保健施設 こぶしの里

〒729-5121 庄原市東城町川東 152-4
TEL 08477-2-5252 FAX 08477-2-5253
●入所定員…67 ●認知症…43 ●通所定員…60 ●会員氏名…梶川 恵美子
●設置主体名…医療法人社団光仁会 ●光仁クリニック、在宅介護支援センターかたくり、此の訪問看護ステーション ●開設…H12-10-16

65 老人保健施設 あおかげ苑

〒722-2211 尾道市因島中庄町大山 1032-1
TEL 0845-26-2233 FAX 0845-26-2232
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…25 ●会員氏名…村上 祐司
●設置主体名…社会福祉法人あおかげ ●協力医療機関：因島総合病院
●開設…H11-07-28

66 介護老人保健施設 葵の園・安浦

〒737-2512 呉市安浦町安登西 5-11-19
TEL 0823-84-0006 FAX 0823-84-0116
●入所定員…89 ●認知症…0 ●通所定員…45 ●会員氏名…新谷 太郎
●設置主体名…医療法人社団柏原会 ●協力医療機関：中国労災病院、尾田歯科医院 ●開設…H11-10-01

67 介護老人保健施設 記念寿

〒730-0805 広島市中区十日市町 1丁目 6-8
TEL 082-294-8400 FAX 082-294-8420
●入所定員…48 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…寺村 信行
●設置主体名…国家公務員共済組合連合会広島記念病院 ●国家公務員共済組合連合会広島記念診療所併設 ●役員…理事 ●開設…H12-04-01

68 介護老人保健施設 eハウス

〒734-0026 広島市南区仁保 1丁目 6-18
TEL 082-286-6117 FAX 082-286-6113
●入所定員…42 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…米川 賢
●設置主体名…医療法人社団広島厚生会 ●広島厚生病院 訪問看護ステーションほほえみ 居宅介護支援センターこうせい ●開設…H12-03-28

69 老人保健施設 さざなみ苑

〒737-1206 呉市音戸町高須 3丁目 7-15
TEL 0823-50-0688 FAX 0823-50-0689
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…貞国 信忠
●設置主体名…呉市 ●協力医療機関：呉共済病院、佐藤歯科医院
●開設…H12-04-01

70 介護老人保健施設 菜の花

〒731-0221 広島市安佐北区可部 5丁目 4-19-10
TEL 082-814-0008 FAX 082-819-1140
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…内藤 秀敏
●設置主体名…医療法人いなとう内科・循環器科 ●いなとう内科・循環器科併設 ●協力医療機関：安佐市民病院、金森歯科医院 ●開設…H12-04-03

71 介護老人保健施設 あいあい

〒726-0026 府中市三郎丸町 137
TEL 0847-40-1010 FAX 0847-40-1550
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…80 ●会員氏名…門田 悦治
●設置主体名…医療法人社団晃弥会 ●協力医療機関：医療法人社団みのり会北川病院 ●開設…H13-02-01

72 介護老人保健施設 白木の郷

〒739-1412 広島市安佐北区白木町大字小越 230
TEL 082-828-0123 FAX 082-828-3456
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…酒井 亮介
●設置主体名…社会福祉法人 三篠会 ●協力医療機関：西条中央病院、ゆあさ歯科 ●開設…H12-03-17

73 介護老人保健施設 ドリームせせらぎ

〒729-0411 三原市本郷町大字船木 3105-3
TEL 0848-86-6868 FAX 0848-86-6601
●入所定員…60 ●認知症…0 ●通所定員…58 ●会員氏名…谷本 雄謙
●設置主体名…医療法人仁康会 ●協力医療機関：本郷中央病院
●開設…H12-07-01

74 介護老人保健施設 ルネッサンス瀬戸内

〒737-1317 呉市倉橋町岳之下 2638-3
TEL 0823-50-3333 FAX 0823-50-3355
●入所定員…65 ●認知症…15 ●通所定員…20 ●会員氏名…林 英紀
●設置主体名…医療法人社団林医院 ●訪問看護ステーション、訪問入浴介護併設 ●協力医療機関：国立呉病院、四道歯科医院 ●開設…H12-07-01

75 介護老人保健施設 あさ

〒739-0311 広島市安芸区瀬野 3丁目 12-35
TEL 082-894-3337 FAX 082-894-3338
●入所定員…70 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…白川 敏夫
●設置主体名…医療法人のぞみ ●瀬野白川病院
●開設…H12-12-01

76 介護老人保健施設 ほほえみ呉中央

〒737-0051 呉市中央 5丁目 1-6
TEL 0823-32-5678 FAX 0823-32-6606
●入所定員…88 ●認知症…0 ●通所定員…12 ●会員氏名…平川 晃
●設置主体名…医療法人ほほえみ会 ●クリニックほほえみ呉 協力医療機関：呉市医師会病院 ●開設…H13-04-01

77 介護老人保健施設 牛田バラ苑

〒732-0068 広島市東区牛田新町 3丁目 30-30
TEL 082-222-8000 FAX 082-222-8006
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…三嶋 弘
●設置主体名…医療法人恒和会 ●協力医療機関：広島鉄道病院、八丁堀歯科医院 ●開設…H13-04-01



広島県老人保健施設協議会会員名簿一覧

(H27.1.31 現在)

78 介護老人保健施設 ウェルフェア

〒732-0032 広島市東区上品1丁目21-6
TEL 082-280-3720 FAX 082-280-3751
●入所定員…84 ●認知症…30 ●通所定員…40 ●会員氏名…山崎 賢一
●設置主体名…医療法人たかまさ会 ●協力医療機関：山崎病院、神人クリニック ●開設…H13-08-01

79 介護老人保健施設 まお

〒725-0012 竹原市下野町3126-1
TEL 0846-22-3007 FAX 0846-22-3060
●入所定員…72 ●認知症…0 ●通所定員…60 ●会員氏名…安田 克樹
●設置主体名…医療法人社団仁慈会 ●安田病院併設 協力医療機関：安田歯科医院 ●開設…H14-01-01

80 介護老人保健施設 呉中央コスモ園

〒737-0811 呉市西中央3丁目6番7号
TEL 0823-32-7100 FAX 0823-32-7200
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…畠山 尚志
●設置主体名…社会福祉法人 白寿会 ●協力機関：済生会呉病院・灘田歯科医院 ●開設…H14-04-01

81 介護老人保健施設 ピア観音

〒733-0036 広島市西区観音新町一丁目7番40号
TEL 082-503-7772 FAX 082-503-7774
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…後藤 忠啓
●設置主体名…社会福祉法人 慈楽福祉会 ●協力機関：広島三菱病院 ●開設…H14-04-01

82 介護老人保健施設 くつろぎ苑

〒721-0962 福山市東手城町一丁目28番地31号
TEL 084-945-7000 FAX 084-945-7001
●入所定員…89 ●認知症…39 ●通所定員…20 ●会員氏名…前原 慈朗
●設置主体名…医療法人 慈生会 ●前原病院 協力機関：たての歯科クリニック ●開設…H14-08-01

83 介護老人保健施設 三浦ひまわり

〒733-0802 広島市西区三浦本町二丁目99番の2
TEL 082-230-8777 FAX 082-230-8327
●入所定員…110 ●認知症…0 ●通所定員…35 ●会員氏名…野村 昭太郎
●設置主体名…医療法人みやうち ●廿日市野村病院 協力機関：広島記念病院 ●開設…H14-11-01

84 介護老人保健施設 せんだの里

〒720-0017 福山市千田町2丁目5番5号
TEL 084-961-1500 FAX 084-961-1501
●入所定員…96 ●認知症…0 ●通所定員…65 ●会員氏名…水永 弘司
●設置主体名…医療法人 永光会 ●水永病院・弓井歯科医院 ●開設…H15-04-01

85 介護老人保健施設 きさか

〒739-0003 東広島市西条町土与丸1235番地
TEL 082-422-1560 FAX 082-421-0838
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…34 ●会員氏名…木阪 義彦
●設置主体名…医療法人博愛会 ●木阪病院・森歯科医院 ●開設…H15-04-01

86 介護老人保健施設 ひばり

〒730-0046 広島市中区昭和町1-5
TEL 082-543-5700 FAX 082-249-5891
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…52 ●会員氏名…梶川 博
●設置主体名…医療法人 翠清会 ●梶川病院・中西歯科医院 ●開設…H15-08-01

87 介護老人保健施設 メディケア・くれ

〒737-0051 呉市中央2-6-20
TEL 0823-25-8100 FAX 0823-25-8112
●入所定員…66 ●認知症…30 ●通所定員…20 ●会員氏名…加藤 良隆
●設置主体名…医療法人社団永楽会 ●前田病院 ●開設…H15-08-01

88 介護老人保健施設 陽だまり

〒730-0042 広島市中区国泰寺2-4-18
TEL 082-544-1616 FAX 082-544-1636
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…林 雄三
●設置主体名…医療法人社団仁鷹会 ●たかの橋中央病院・河内歯科医院 ●開設…H15-12-01

89 介護老人保健施設 ふかわ・くにくさ

〒739-1752 広島市安佐北区上深川186番地1
TEL 082-840-1840 FAX 082-840-3666
●入所定員…100 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…横山 吉宏
●設置主体名…社会福祉法人あと会 ●協力医療機関：太田川病院・松島歯科 ●開設…H16-10-01

90 介護老人保健施設 シラユリ

〒722-0062 尾道市向東町2830
TEL 0848-20-6009 FAX 0848-44-6466
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…36 ●会員氏名…吉原 久司
●設置主体名…医療法人吉原胃腸科外科 ●協力医療機関：尾道市立市民病院・吉原胃腸科外科 ●開設…H16-10-01

91 介護老人保健施設 葵の園・広島空港

〒739-2208 東広島市河内町入野7841番地2
TEL 082-420-7171 FAX 082-420-7300
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…60 ●会員氏名…新谷 幸義
●設置主体名…医療法人社団葵会 ●協力医療機関：八本松病院・八本松歯科 ●開設…H17-04-01

92 介護老人保健施設 湯来まつむら

〒738-0512 広島市佐伯区湯来町大字白砂字桐曾利590番地
TEL 0829-40-5600 FAX 0829-40-5221
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…松村 誠
●設置主体名…医療法人松村循環器・外科医院 ●協力医療機関：速水医院・川端歯科医院 ●開設…H17-05-01

93 介護老人保健施設 原

〒738-0031 廿日市市原926-1
TEL 0829-38-3333 FAX 0829-38-6161
●入所定員…120 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…酒井 亮介
●設置主体名…社会福祉法人三篠会 ●協力医療機関：JA 広島総合病院・重症心身障害児施設鈴が峯歯科 ●開設…H18-03-01

94 介護老人保健施設 さくら

〒736-0045 安芸郡海田町堀川町2-23
TEL 082-822-3777 FAX 082-822-8438
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…30 ●会員氏名…山本 正隆
●設置主体名…医療法人かしの木会 ●開設…H18-06-01

95 駅家リハビリテーション SAKURA

〒720-1131 福山市駅家町大字万能倉1046番2
TEL 084-977-0058 FAX 084-976-9622
●入所定員…90 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…安部 英一
●設置主体名…医療法人社団黎明会 ●開設…H18-06-01

96 介護老人保健施設 大浜

〒734-0102 呉市豊浜町大字大浜深田482番地の1
TEL 0846-67-1188 FAX 0846-67-1177
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…丸橋 暉
●設置主体名…社会福祉法人成寿会 ●開設…H19-04-01

97 介護老人保健施設 なごみ

〒737-0001 呉市阿賀北1丁目14番15号
TEL 0823-74-7531 FAX 0823-74-7533
●入所定員…36 ●認知症…0 ●通所定員…0 ●会員氏名…長尾 邦雄
●設置主体名…医療法人緑風会 ●開設…H19-10-01

98 介護老人保健施設 ビーブルかなべ

〒720-2124 福山市神辺町川南547番地の7
TEL 084-960-0881 FAX 084-963-0884
●入所定員…62 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…藤井 功
●設置主体名…医療法人紅萌会 ●開設…H19-12-01

99 介護老人保健施設 あおやま

〒737-0001 呉市阿賀北6丁目15番30号
TEL 0823-76-3311 FAX 0823-76-3310
●入所定員…80 ●認知症…0 ●通所定員…20 ●会員氏名…青山 喬
●設置主体名…医療法人せいざん ●青山病院 ●開設…H21-04-01

100 介護老人保健施設 阿賀コスモス園

〒737-0004 呉市阿賀南3丁目7番1号
TEL 0823-73-7300 FAX 0823-73-7500
●入所定員…60 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…登 道夫
●設置主体名…社会福祉法人白寿会 ●開設…H20-04-01

101 介護老人保健施設 せせらぎ

〒729-5724 庄原市西城町中野1339
TEL 0824-82-2601 FAX 0824-82-2601
●入所定員…50 ●認知症…0 ●通所定員…4 ●会員氏名…郷力 和明
●設置主体名…庄原市 ●庄原市立西城市民病院 ●開設…H20-04-01

102 介護療養型老人保健施設 いわさき

〒732-0043 広島市東区東山町1-9
TEL 082-262-5271 FAX 082-261-8720
●入所定員…92 ●認知症…0 ●通所定員…10 ●会員氏名…岩崎 昭治
●設置主体名…医療法人社団石見会 ●いわさきクリニック ●開設…H20-04-01

103 因島医師会介護老人保健施設 ビロードの丘

〒722-2211 尾道市因島中庄町1955番地
TEL 0845-24-1209 FAX 0845-24-1205
●入所定員…80名 ●認知症…0 ●通所定員…40 ●会員氏名…岡崎 純二
●設置主体名…社団法人因島医師会 ●因島医師会病院 ●開設…H24-05-01

104 東洋羽毛中四国販売株式会社広島営業所

〒731-0013 広島市安佐南区西原1丁目12-12
 TEL082-850-3850 FAX082-871-8281
 ●入所定員…0名 ●認知症…0 通所定員…0 ●会員氏名…代表取締役 柳場 弘
 ●設置主体名…東洋羽毛工業株式会社
 ●開設…H22-04-08

105 介護療養型老人保健施設みのり

〒726-0003 府中市元町43-1
 TEL0847-45-4571 FAX0847-40-0117
 ●入所定員…93名 ●認知症…0 通所定員…25 ●会員氏名…平松 義武
 ●設置主体名…医療法人社団みのり会 ●北川病院
 ●開設…H23-04-01

106 介護老人保健施設グリーン三条

〒737-0821 呉市三条1丁目3番14号
 TEL0823-23-0303 FAX0823-23-0642
 ●入所定員…68名 ●認知症…0 通所定員…0 ●会員氏名…小野 浩
 ●設置主体名…医療法人社団中川会
 ●開設…H24-09-01

107 老人保健施設はたのリハビリ

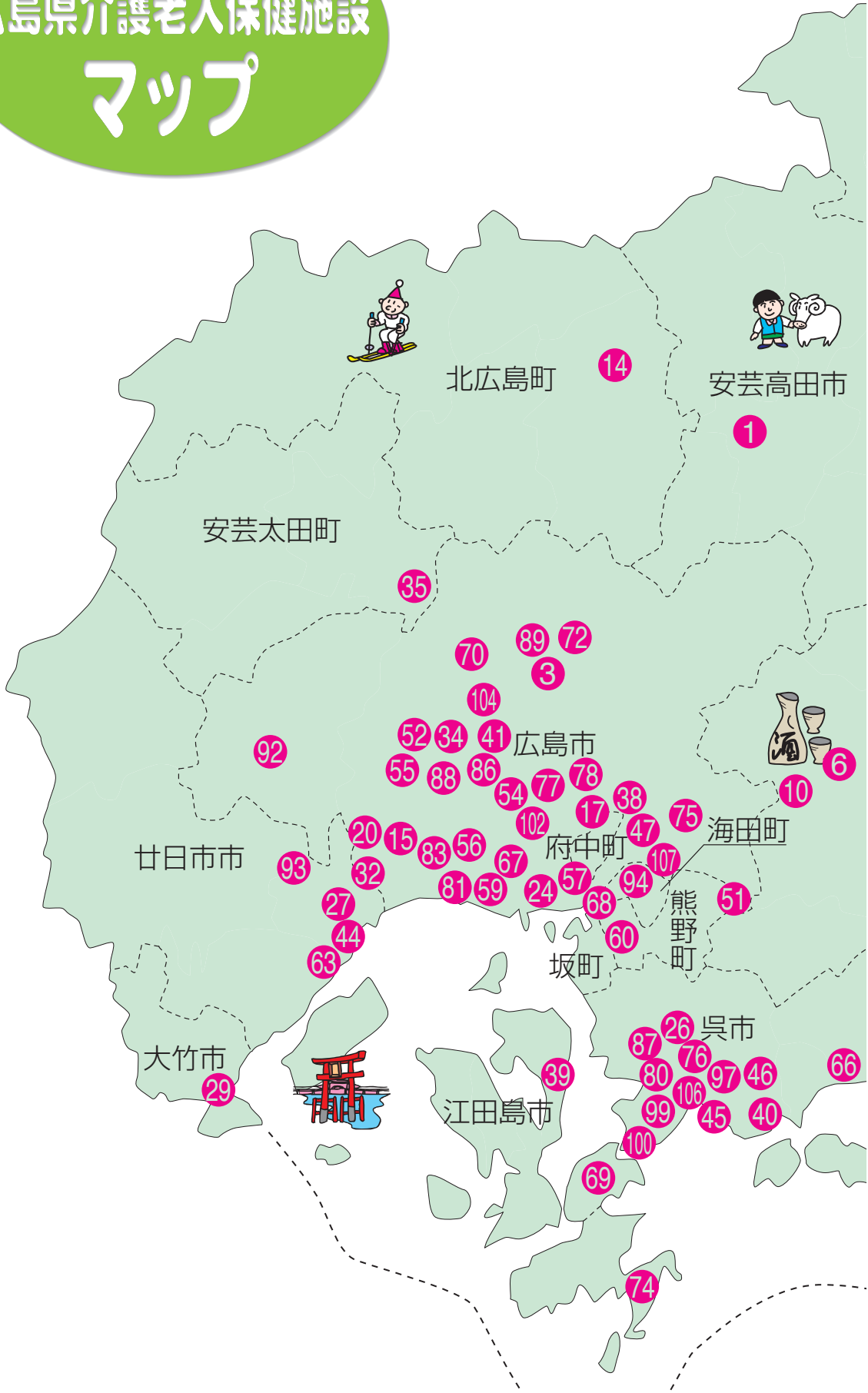
〒739-0321 広島市安芸区中野5丁目13番30号
 TEL082-893-3636 FAX082-893-3737
 ●入所定員…15名 ●認知症…0 通所定員…0 ●会員氏名…畑野 栄治
 ●設置主体名…医療法人社団長寿会
 ●開設…H24-09-01

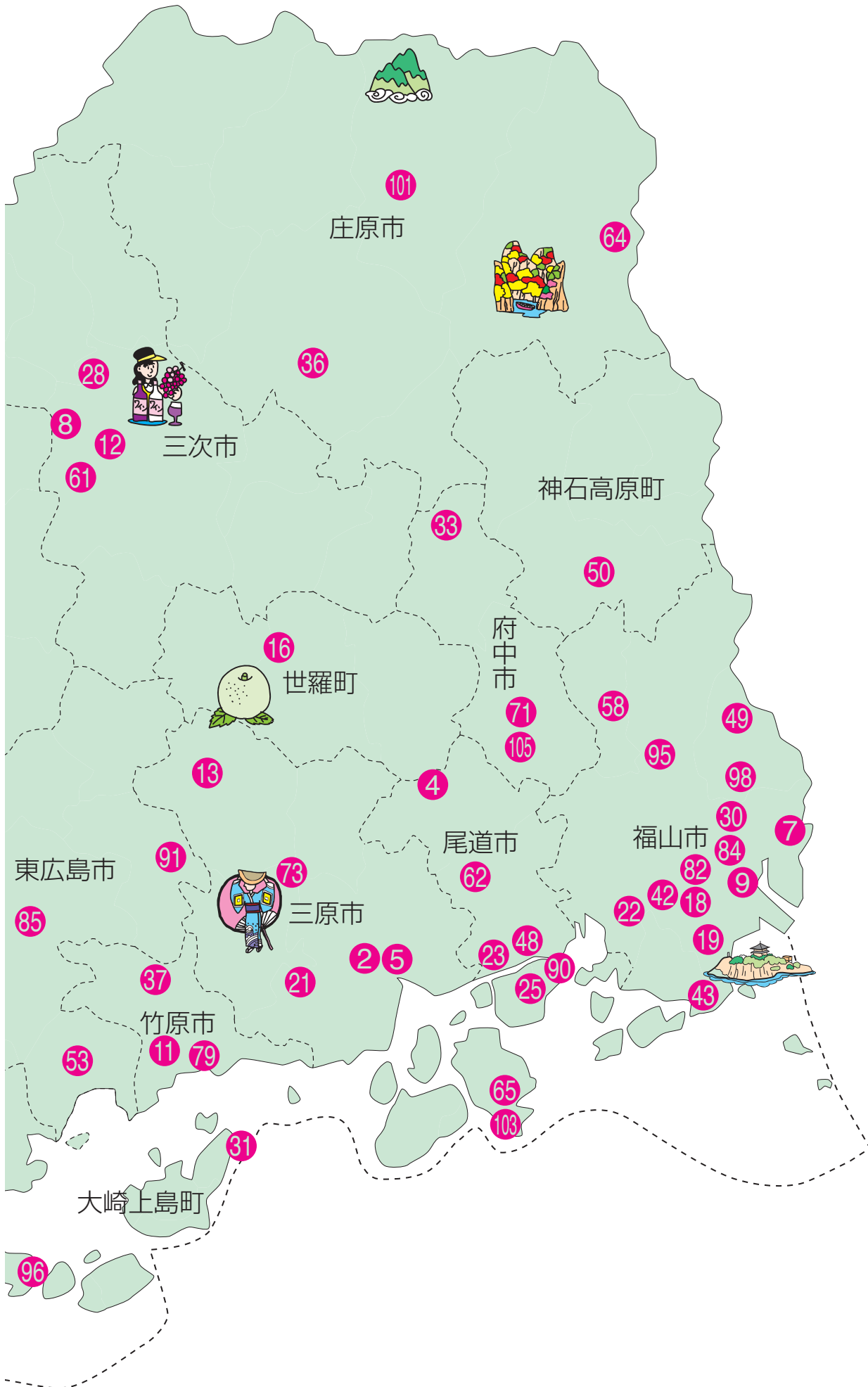
会員施設メールアドレス一覧 平成27年1月31日現在（施設名略称順）

No.	施設名	メールアドレス
71	介護老人保健施設 あいあい	rouken@aiai-fukushi.net
36	介護老人保健施設 愛生苑	aiseien@abeam.ocn.ne.jp
16	介護老人保健施設 葵の園・セラ	aoi_sera@aoikai.jp
91	介護老人保健施設 葵の園・広島空港	takahara.rs@aoikai.jp
66	介護老人保健施設 葵の園・安浦	aoi_yasuura@aoikai.jp
65	老人保健施設 おおかげ苑	aokage.11.8.2.segawa@bird.ocn.ne.jp
99	介護老人保健施設 おおやま	seizan_jimusyoo@yahoo.co.jp
100	介護老人保健施設 阿賀コスモス園	muratake.tooru@hakujukai.jp
75	介護老人保健施設 あき	rouken-aki@go6.enjoy.ne.jp
53	老人保健施設 あきまる園	fujita.tokuo@hakujukai.jp
14	介護老人保健施設 あげぼの	info@m-meiwakai.jp
61	三次地区医師会介護老人保健施設 あざざり	asagiri@rice.ocn.ne.jp
39	介護老人保健施設 あすなる	jn2asuna@alpha.ocn.ne.jp
46	介護老人保健施設 あすらや荘	asuraya@ms4.megaegg.ne.jp
68	介護老人保健施設 eハウス	ehk5@hiroshimakosei.com
32	介護老人保健施設 五日市幸楽苑	greenhill-soumu@gh.wadokai.jp
102	介護療養型老人保健施設 いわさき	iwasaki-hp@if-n.ne.jp
78	介護老人保健施設 ウェルフェア	welfare1@lily.ocn.ne.jp
77	介護老人保健施設 牛田バラ苑	rosegardenu@yahoo.co.jp
95	介護老人保健施設 駅前リハビリテーションSAKURA	sakusaku@ekiya-sakura.jp
96	介護老人保健施設 大浜	rouken.oohama@seijukai-welfare.jp
33	老人保健施設 かがやき苑	kagayaki@kagayakien.or.jp
22	老人保健施設 かなえ	r-kanae8135@mopera.net
85	介護老人保健施設 きさか	kaigosv1235@kisaka-hp.or.jp
67	介護老人保健施設 記念樹	info@kkrkinenju.jp
41	老人保健施設 希望の園	kibunonsoho@nifty.com
82	介護老人保健施設 かつろぎ苑	kuturogi.family@io.ocn.ne.jp
23	介護老人保健施設 くらげ	kaihkubo@urban.ne.jp
51	介護老人保健施設 熊野ゆうあいホーム	yuai@furusawa-iin.com
106	介護老人保健施設 グリーン三条	manabu-nakagawa@kure-nakadori.jp
42	老人保健施設 グリーンハウス宏喜苑	koukien@fukuyama.hiroshima.med.or.jp
80	介護老人保健施設 呉中央コスモス園	noburi.yoshio@hakujukai.jp
26	老人保健施設 コスモス園	iwamoto.kanako@hakujukai.jp
64	介護老人保健施設 こぶしの里	nagoshi@kajikawa.or.jp
94	介護老人保健施設 さくら	yamamoto-ortho.jimu@h.email.ne.jp
69	老人保健施設 さざなみ苑	sazanami@kureshakyo.jp
5	介護老人保健施設 三恵苑	sankeien@mihara-matuhp.or.jp
3	老人保健施設 さんさん高陽	sansan1988w.heart@adagio.ocn.ne.jp
19	介護老人保健施設 サンスクエア沼南	jojins-office@major.ocn.ne.jp
9	介護老人保健施設 サンビレッジ	towa-sunvillage@eos.ocn.ne.jp
44	介護老人保健施設 シェスタ	siesta@tsuchiya-hp.jp
58	老人保健施設 ジョイトピアしんいち	rouken@joytopia.or.jp
72	介護老人保健施設 白木の郷	misasa_shirakinosato@yahoo.co.jp
90	介護老人保健施設 シラユリ	shirayuri@yoshihara-hospital.jp
25	介護老人保健施設 シルバーケア ヨシハラ	silver2yoshihara@yoshihara-hospital.jp
52	老人保健施設 しんあい	shinai@nifty.com
54	介護老人保健施設 スカイバード	kakis@deluxe.ocn.ne.jp
62	介護老人保健施設 精彩園	seisaien@seisakai.or.jp
10	介護老人保健施設 静寿苑	seijuen@seagreen.ocn.ne.jp
40	老人保健施設 成寿苑	shigeo.okajima@seijukai-welfare.jp
101	介護老人保健施設 せせらぎ	saijo-byouin@int.city.shobara.hiroshima.jp
47	老人保健施設 せのかわ	senogawa@jasmine.ocn.ne.jp
84	介護老人保健施設 せんだの里	takake@sendanosato.com

No.	施設名	メールアドレス
11	竹原むつみ老人保健施設	mutumi91@crocus.ocn.ne.jp
57	老人保健施設 チェリーゴード	kurisu@fig-g.com
21	老人保健施設 桃源の郷	j-itou@jinkokai.jp
55	老人保健施設 とやま	toyamajimutyoo@space.ocn.ne.jp
73	介護老人保健施設 ドリームせせらぎ	164@jinkokai.jp
28	介護老人保健施設 ナーシングホーム沙羅	sara-1@alpha.ocn.ne.jp
97	介護老人保健施設 なごみ	nagomi@hoyu-hp.com
70	介護老人保健施設 菜の花	nanohana@hyper.ocn.ne.jp
56	老人保健施設 西広島幸楽苑	zimumkanri2@ph.wadokai.jp
13	老人保健施設 仁和の里	niwanosato@gmail.com
43	老人保健施設 めまぐま	zaitaku@shounankai.com
1	広島県厚生農業共同組合連合会老人保健施設 のぞみ	m.kawahara@hirokokuren.or.jp
7	老人保健施設 ハイトピア・カイセイ	haitopia@theia.ocn.ne.jp
107	老人保健施設 はたのリハビリ	hata3636@yahoo.co.jp
45	老人保健施設 パナケイア	panakeia@wakokai.jp
15	介護老人保健施設 花の丘	wel@welnet.jp
60	介護老人保健施設 はまな荘	fure-i807@saiseikai.com
93	介護老人保健施設 原	misasa_hara@yahoo.co.jp
81	介護老人保健施設 ピア観音	piakannon@jiraku.or.jp
98	介護老人保健施設 ビーブルかんなべ	kbk.b.kannabe@tea.ocn.ne.jp
18	介護老人保健施設 ビーブル春秋苑	syunjuukanri@aroma.ocn.ne.jp
50	介護老人保健施設 ビーブル神石三和	kbk.b.jinsekisanwa@ninus.ocn.ne.jp
24	老人保健施設 ひうな荘	hiuna@ms10.megaegg.ne.jp
35	老人保健施設 ひこばえ	hikobae@hyper.ocn.ne.jp
88	介護老人保健施設 陽だまり	hidamari@jinyoukai.or.jp
86	介護老人保健施設 ひばり	hibari@suseikai.jp
27	介護老人保健施設 ひまわり	imhn@fancy.ocn.ne.jp
8	介護老人保健施設 ビレネ	sinwa340@jasmine.ocn.ne.jp
103	因島医師会介護老人保健施設 ピロードの丘	veludo-hill1955@titan.ocn.ne.jp
49	介護老人保健施設 ふあみりい	family-k@fukuyama.hiroshima.med.or.jp
89	介護老人保健施設 ふかわ・くにくさ	atokai@mx1.alpha-web.ne.jp
59	老人保健施設 平和の里	fvgw8850@mb.infoweb.ne.jp
63	老人保健施設 べにまんさくの里	furuse@koujinkai.org
34	介護老人保健施設 ヘルローゼ	yagata@igl.or.jp
76	介護老人保健施設 ほほえみ呉中央	hohoemichuou@mx41.tiki.ne.jp
20	介護老人保健施設 まいえ	maie_office@pia-gr.or.jp
79	介護老人保健施設 まお	mao-jimu@yasudabyouin.com
83	介護老人保健施設 三滝ひまわり	info-mitaki@miyauchi.or.jp
4	公立みつぎ総合病院介護老人保健施設 みつぎ苑	sono@mitsugibyouin.com
105	介護療養型老人保健施設 みのり	shomu@pear.ccjnet.ne.jp
31	介護老人保健施設 みゆき	soudan@c.do-up.com
87	介護老人保健施設 メディケア・くれ	medicare@hospital-maeda.jp
48	介護老人保健施設 やすらぎの家	yasuragi@orange.ocn.ne.jp
29	介護老人保健施設 ゆうゆ	tijinkai@urban.ne.jp
6	介護老人保健施設 ゆうゆうの園	rouken@youyou.or.jp
92	介護老人保健施設 湯来まつむら	yuki-matsumura@cotton.ocn.ne.jp
37	老人保健施設 ゆさか	yusaka@sweet.ocn.ne.jp
30	介護老人保健施設 ゆめの杜	tabuti@ken-o-gr.jp
17	介護老人保健施設 洋光台バラ苑	y-baraen@wish.ocn.ne.jp
12	介護老人保健施設 リカバリーセンター章仁苑	shojin@p1.pionet.ne.jp
2	老人保健施設 里仁苑	rijinen@forest.ocn.ne.jp
38	老人保健施設 りは・くにくさ	reha_kunikusa@fch.ne.jp
74	介護老人保健施設 ルネッサンス瀬戸内	renaissance@sage.ocn.ne.jp

広島県介護老人保健施設 マップ







呉市／海上自衛隊呉史料館-てつのくじら館



東広島市／西条の酒蔵

介護老人保健施設の理念・役割

1. 包括的ケアサービス施設
2. リハビリテーション施設
3. 在宅復帰施設
4. 在宅生活支援施設
5. 地域に根ざした施設



●編集

広島県老人保健施設協議会
広報委員会
〒720-0832 福山市水呑町字大谷 3332-1
介護老人保健施設 サンスクエア沼南
☎ (084) 956-1177 ☎ (084) 956-3700

●発行

広島県老人保健施設協議会
事務局
〒722-0393 広島県尾道市御調町市 124 番地
公立みつぎ総合病院内
☎ (0848) 76-1111 ☎ (0848) 76-3002